

Brave Seele ~ブレイ
ブ・ゼーレ~

ヤギリ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

Brave Seeleブレイブ・ゼーレ

それは今、世界に波乱を巻き起こしている究極のカードゲーム…

Braveは＜勇気＞を Seeleは＜魂＞を意味している。

人々は魂をカードに込めて、デュエルで己の勇気を示す。

今叫べ！己の魂と勇気を示して、＜ゼーレ・リリース＞！

初のオリジナル作品です。オリジナルのTCGを思いついたので書いてみました。駄作かですが、良ければ感想ください。（優しくね）

目次

チュートリアル	
ブレイブゼーレ ルールなど紹介	1
ブレイブゼーレのデュエル紹介	5
本編 第1章	
友のピンチ	15
トウヤ vs 金井	23
アスカ ブレイブゼーレ デビュー	32
ムキムキの強面店長	50
最強の漢 筋肉デッキ	58
覚醒召喚	68
小学生の上級者デュエラー	76
幹也 vs ルナ	87
麒麟界 編	
麒麟界の噂	95
麒麟カップ 開催!	101
トウヤ vs 麒麟・影角	108
アスカ vs シキ	123
麒麟・氷弧の試練	132
幹也の怒り	141
錯鼠の脅威	150
ルナ vs 清少納言	159
速攻の風馳	169

トウヤ	vs	龍翔	253
2人の転校生			243
新章			
麒麟	決着!		236
!			226
トウヤ	vs	マキウラ	
		新たな覚醒	218
神			
トウヤ	vs	マキウラ	
		滅亡の幻獣	211
動き出すマキウラ			202
炎狗の業火			194
豪禍	vs	スミヤ	184
怒れる獣		麒麟・怒猪	178
金井	テル	覚悟のデュエル	

チュートリアル

ブレイブゼーレ ルールなど紹介

ブレイブゼーレ、本編の前にルールなど紹介します。

簡単なデュエルの目的と簡単ルール

1. ルールは簡単、お互いのライフを削り合い先にライフが0になったプレイヤーが負けだ。デッキが0になった状態でドロータイムを迎えても負けになる。
2. デッキは40枚以上なら何枚でも入れられる。ただし同名のカードは3枚までしか入れられない。
3. デュエル中、カードの効果以外でデッキを閲覧するのはタブー

カードの種類

ブレイブゼーレには、2種類のカードが存在する。

1. ゼーレカード：このカードゲームで1番重要なカード、相手のゼーレやプレイヤーに攻撃したり、自分を守ってくれるカード

2. トリガーカード：自分や相手、ゼーレなどに大きな影響を与えたり、自分をサポートしたり、相手を妨害してくれるカード、モノによっては相手のターンにも使える。

タイム（フェイズ）の並びや進行順

スタートタイム：自分のターンだと言う事を知らせるタイム、さらに、場のゼーレやエナジーをリブートする。（このタイミングで使えるカードの効果を処理する。）

ドロウタイム：デッキの上から裏向きでカードを1枚引いて手札に加える。（このタイミングで使える効果を処理する。）

チャージタイム：君の手札のカードか、場のカードを1枚までエナジーゾーンに置く、置かない事も選べる。（このタイミングで使える効果を処理する。）

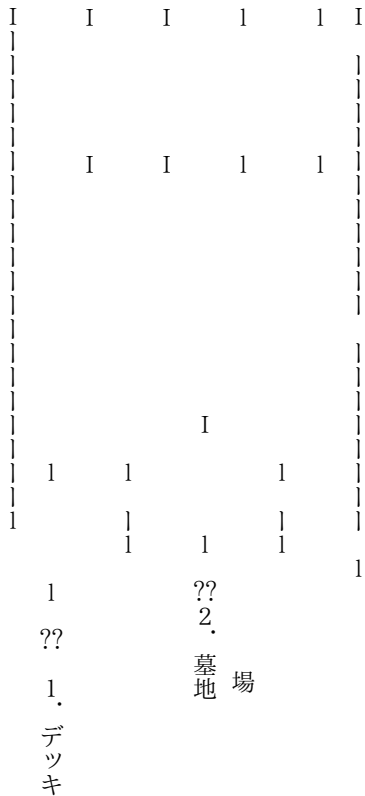
メインタイム：ゼーレを召喚したり、トリガーカードを使う。（このタイミングで使える効果を処理する。）

バトルタイム：自分のゼーレで相手のゼーレを攻撃したり、相手のプレイヤーを攻撃できる。（このタイミングで使える効果を処理する。）

エンドタイム：ターンの終了を宣言する。（このタイミングで使える効果を処理する。）

と言った流れで進行する。

フィールドのイメージ



?? 3. エナジーゾーン
とつてもシンプルですね

1. デツキ置き場（フィールドの右端の下）：ゲーム中デツキを置いておく
2. 墓地（デツキ置き場の上）：破壊されたゼーレや使い捨てのカードを置く所
3. エナジーゾーン（フィールドの左側全体）：チャージタイムや効果でエナジーにな

るカードを置く所

4. 場（フィールドの中央）：ゼーレはこの場所に3体まで召喚される、バトルもこの場所で行える。

基本ルール

1. ゼーレはエナジーが続く限り1ターンに何体でも召喚できるが、場に出れるゼーレは3体まで
2. エナジーゾーンにカードは7枚まで置ける。7枚以上のカードは墓地に置かれる。
3. カードの効果以外でデッキを見たり、カードの効果以外で墓地やエナジーのカードを取ることはできない。
4. スタンしているカードはスタートタイムと効果以外でリブートできない。
5. 裏向きエナジーはスタートタイムと効果以外で表向きにできない。

ブレイブゼーレのデュエル紹介

今回はブレイブゼーレのデュエルの中味を紹介します。

今回デュエルするのは、作者である私、ヤギリと本編の主人公 幻界 トウヤです。なるべく分かりやすくデュエル出来たらなるとやります。

ヤギリ「さあ、さっそく始めよう」

トウヤ「よろしく、ヤギリさん」

ヤギリ「主人公なんだから、胸を張って呼び捨てでいいよ」

トウヤ「分かったよ、ヤギリ」

ヤギリ「行くぞ、まずはジャンケンだ！が、チュートリアルだから先攻は俺からだ、デツキをシャツフルして、デツキ置き場に置く。」

トウヤ「OK置いたよ。」

ヤギリ「今回はチュートリアルだから互いのライフは15／手札7枚から始める。じゃあ始めるぞ！掛け声は……」

ゼーレ リリース（魂解放）！

ヤギリ「俺のターン！ドロータイム、先攻からドローできるぜ、チャージタイム、手札を1枚表向きでエナジーに置く（エナジー0→1）、メインタイム、ここでバトルの準備ができる。俺はエナジー1枚をコストにする（コストになるエナジーは裏向きにする）。〈暴れタイガー〉を召喚！」

暴れタイガー

ランク1／★／炎 属／獣 類

コスト1／攻2500／パワー2

??効果無し

カードから現れたトラが暴れたくてウズウズしている。

ヤギリ「バトルタイム！先攻からでも攻撃できるぜ、暴れタイガーで攻撃！相手が攻撃を受ける際はパワーの数値を参照する、暴れタイガーのパワーは2！ダメージ2だ！」

トウヤ「うわ！」LP15↓13
 ヤギリ「ターンエンド、次はトウヤの番だ」

トウヤ「僕のターン、ドロロー！エナジーチャージ（0↓1）！僕はトリガーカード＜エナジープラス＞を発動！」

エナジープラス

ノーマルトリガー

??君のデツキから2枚エナジーに置く。

トウヤ「僕はデツキから2枚エナジーチャージ（エナジー1↓3）！エナジー2を使
 い（エナジー3↓1）、＜サイアックス＞を召喚！」

サイアックス

ランク2／★／無 属／獣 類

コスト2／攻4000／パワー3

??「チャージ」墓地に置かれるこのカードは代わりにエナジーに置く。（手札やデツキ

から墓地に行く時もエナジーに置く)

カードから片手に斧を持ったサイが現れる。

トウヤ「さらにコストで<暴れタイガー>を召喚！バトル！暴れタイガーでヤギリの暴れタイガーに攻撃！ゼーレ同士のバトルはダメージ蓄積型、同じ攻撃力同士でも、攻撃した側は破壊されず、攻撃された側はそのゼーレの攻撃力分ダメージを受けるんだ。つまりこう言う事」

トウヤ

暴れタイガー

攻2500

vs

ヤギリ

暴れタイガー

攻2500↓0 撃破！

ヤギリ「トウヤの暴れタイガーの攻撃ダメージを受けて2500だった俺の暴れタイ

ガラの攻撃力は0になった、よって破壊される…」

トウヤ「サイアックスでヤギリに攻撃！パワー3だよ」

ヤギリ「うぐう！」LP15↓12

トウヤ「ターンエンド」

ヤギリ「俺のターン！ドロロー、エナジーチャージ（1↓2）！トリガーカード僕も＜エナジープラス＞エナジー+2（2↓4）！エナジー4払い＜ガトリングファイヤ・ドラゴン＞を召喚！」

ガトリングファイヤ・ドラゴン

ランク3／★★★／炎 属／兵器 類／龍 類

コスト4★／攻5000／パワー4

??君のバトルタイム、君のゼーレ1体の攻撃力+2000！パワー+2！

ヤギリ「さらに＜小火ラビット＞」

小火ラビット^{こび}

ランク1／★／炎 属／獣 類

コスト0 / 攻1500 / パワー2

?? 「直攻」このゼーレは相手のゼーレを無視して相手に攻撃できる。

?? 「チャージ」

ヤギリ「バトル！ガトリングファイヤ・ドラゴンの効果で自身の攻撃力+2000！
パワー+2！」

ガトリングファイヤ・ドラゴン

攻5000 ↓ 7000

パワー4 ↓ 6

ヤギリ「ガトリングファイヤで暴れタイガーに攻撃！」

ガトリングファイヤドラゴン

攻7000 / パワー6

vs

暴れタイガー 撃破！

攻2500／パワー2

ヤギリ「ガトリングファイアの攻撃で暴れタイガーを破壊したら相手プレイヤーへのダメージ計算が行われる、ガトリングファイアドラゴンのパワー6から暴れタイガーのパワー2が引かれたダメージを相手に与える。」

パワー 6-2=4ダメージ

トウヤ「ぐあ！」LP13↓9

ヤギリ「小火ラビットで直攻！相手のゼーレを無視してトウヤに攻撃！」

トウヤ「ぐう」LP9↓7

ヤギリ「ターンエンド」

トウヤ「僕のターン、僕も小火ラビットを召喚！僕の場合には、サイアックスと小火ラビットがいる、この2体が持つ★の数の合計、払うコストが（コストの横の★の数だけ）減る、よってこのゼーレを出す。本来の払うエナジーは5だが、エナジー3で召喚！僕の切り札＜獣騎士レオン・ナイト＞！」

獣騎士 レオン・ナイト

ランク3 / ★★ / 無 属 / 獣 類

コスト5 ★★ / 攻5000 / パワー5

?? 自分のバトルタイム開始時、相手のゼーレ1体に5000のダメージを与える。

?? 「連撃1」（このカードが攻撃した時1度だけリブートする。）

鎧を纏い剣をたずさえた二足歩行のライオンが現れる

ヤギリ「ランク3でパワー5…、強いな…、それに場に★が合計2つあるから、コスト3で召喚したのか」

トウヤ「そう、レオンナイトは最大3までコストを減らせるから以外と出しやすいゼーレなんだ、バトル！レオンナイトの効果でガトリングファイヤドラゴンにダメージ5000！」

ヤギリ「5000だと!?!?」

ガトリングファイヤドラゴン 破壊！

攻5000↓0

トウヤ「攻撃じゃなくても、効果でダメージを与えて攻撃力が0になっても破壊される。」

ヤギリ「くっ…」

トウヤ「レオンナイトでヤギリの小火ラビットに攻撃！」

レオンナイト

攻5000

パワー5

vs

小火ラビット 破壊

攻1500↓0

パワー2

ヤギリ「くっ！」LP12↓9

トウヤ「小火ラビットで攻撃！」

ヤギリ 「俺の場にカードは無い…うぐう！」 LP 9 ↓ 7

トウヤ 「サイアックスで攻撃！」

ヤギリ 「ぐあっ」 LP 7 ↓ 3

トウヤ 「レオンナイトは連撃で1回りブートしている、つまり…」

ヤギリ 「もう1度攻撃できる…」

トウヤ 「正解！レオンナイトで攻撃！」

ヤギリ 「ぐあああ！」 LP 3 ↓ 0

ヤギリ 「さすが主人公…、本編での活躍、楽しみにしてるぜ！」

トウヤ 「ああ！楽しいデュエルだったよ」

本編 第1章

友のピンチ

Brave Seele ブレイブ・ゼーレ

それは今、世界に波乱を巻き起こしている究極のカードゲーム…

Braveは<勇気>を Seeleは<魂>を意味している。

人々は魂をカードに込めて、デュエルで己の勇気を示す。

今叫べ！己の魂と勇気を示して、<ゼーレ・リリース>！

勇気咲 高校

2年の教室で1人の男子生徒が他のクラスメイトから注目を浴びていた。

「じゃあこのゼーレでトドメ！」

「うわー、負けちゃった…」

「さすがユウト君、勇気咲ショップのチャンピオンだ」

ユウト「やめてよ、そんな凄いモノじゃないよ…」

ガラガラ

教室に教室に学ランの正装を崩したいかにも不良の男子が入って来る

「おい、ユウト」

ユウト「幹也君…」

幹也「ちよつと裏まで来いよ」

ユウト「う、うん」

――

校舎裏

幹也「お前、高校生にもなつてまだカードゲームしてんのか？紙並べて遊んで何が楽しいんだ？」

ユウト「でもブレイブゼーレは大人もお年寄りもやってるし…、今一番流行ってるし…」

幹也「あーそうかよ…、それより、金貸してくんね？欲しいゲームあつてよ、今月の小遣いもまだなんだよ、な？」

ユウト「え？でも、先月も貸しただろ？」

幹也「でも返しただろ…」

ユウト「半分だけだけどね…」

幹也「いいだろう？てかお前俺に金返せなんて言える立場かよ！」

ユウト「充分言える立場だよ…、金貸してる側だよ!!？僕！」

「……」

——

放課後 商店街

「しかし、ユウトだっけ？あいつも分かんねー奴だよな？」

幹也「何が分かんねーんだ？東原？」

東原「あいつ、ビクビクする訳でもなくて、だからって突つかかって来る訳でもなく

よ…、周りから見れば不良にカツアゲされてる気弱な生徒に見えるだろうがよ…」

幹也「だなあ…、けど、あいつが強気なのは、俺が幼馴染だからだ、幼稚園の頃から

の腐れ縁だよ、あいつには、自然とイライラしないんだよ…」

東原「ふーん、だから素直に金も返すのか…、ところで欲しいゲームってなんだよ？

俺にもやらせろよ」

幹也「ああ、いいぜ！お、着いた着いた。」

東原「ここって、カードショップじゃねえか」

幹也「俺もやってみようと思ってよ、ブレゼレ」

幹也と東原はカードショップに入る…

「……しばらくして…」

「ありがとうございます」

幹也「なかなか色んなカードがあつて良かったぜー！」

東原「見境い無く買つてよく、ルールとか分かるのか？」

幹也「デッキも買ったから大丈夫よ！意味分からん所はユウトに聞くん！」

東原「ユウトも大変だな…」

「ねえ君達、少しいいかな？」

幹也と東原が声に振り向いた時、明らかにガリ勉そうな男子が立っていた…、そして彼の横にはガタイのいい厳つい学生達が立っていた。

東原「あん？なんだよ、このメガネは」

幹也「なんか用か？」

「頭悪いね、用があるから呼び止めたんだよ？とにかく来てよ…」

厳つい学生達が幹也と東原を無理やり裏へ連れて行く。

ナンダヨ！コラ！

ハナセツテヨ！

ハナセツテイツテンダロ！

「幹也と東原…？着いて行ってみよ…」

――

カードショップ 裏

「へく、君達もブレゼレやるんだ…、デツキを買ったつてことは、初心者かな？」

幹也「だったら、なんなんだよ…」

「ねえ、僕とデュエルしようよ、大丈夫、ちゃんとルールは教えるからさ！君達が買ったら、僕のレアカードをあげるよ、でも僕が勝ったら…」

幹也／東原「くっ！」

（大変！トウヤ君に知らせなきゃ！）スマホ ポチツ

――

幻界 家

トウヤのスマホ ライン!

トウヤ「ん? アスカから? ……?!? 幹也君と東原君が?!?」

――

カードショップ裏

幹也「ぐはっ…」

東原「がはっ」

「あーあ弱い弱い、スジは良いんだけどな、やっぱ、カツアゲした金で買ったカードは弱いね…」

幹也「くっ、くそ…」

東原「金井…、てめえ…」

金井「気安く呼ぶんじゃないよ…、もっと絞めろ」

「はい!」 ドガッ バギッ

東原「ぐふっ」

幹也「がはっ」

「待て！」

金井「ん？」

東原「お前……」

幹也「トウヤ！」

トウヤ「何……やってるの……？」

金井「何……？、君からカツアゲした2人を懲らしめていたんだよ……感謝してほしいね？」

トウヤ「感謝？友達を傷つけた君に……？」

金井「友達……？ああ、そう脅されているんだな？いざという時に友達……？、そうだろ？」

トウヤ「確かに僕は彼らにお金を貸してるよ、でも2人とも、半分だけど、ちゃんと返してくれるよ！」

金井「君とも話しは合わなそうだ……、じゃあさ、ブレイブゼーレやろうよ、君が勝つたら君達を見逃してあげるよ、でも負けたら……どうしようかな……、まあ君が負けたら考えるよ……」

トウヤ「分かったよ……、やろう！」

金井「僕は金井テル、さあ、デュエルだ！」

2人はデツキケースを腕に押し当てる、そうするとデツキケースがブレスレットのよ
うに腕に固定される。そして互いのデツキケースから円形に光が広がりバリア状の空
間になる。この空間ではカードが実際に実体化できるので。2人の目の前にプレイ
フィールドが現れる。デツキは腕に固定されているのでデツキ置き場が無くなってい
る。

トウヤ「さあ行くよ！」

金井「来いよ！」

ゼーレ・リリース！

トウヤ vs 金井

ゼーレ・リリース！

金井「ライフは互いに15からだ！いいね？」

トウヤ「うん！」

金井「では僕からドロー！エナジーチャージ！<赤土の騎士>を召喚！」

赤土の騎士

ランク1／★／土 属／戦騎士 類

コスト0／攻2500／パワー2

??「チャージ」(墓地に置かれるこのカードは代わりにエナジーに置く。手札やデッキから墓地に行く場合も発動する。)

金井「赤土の騎士で攻撃！」

トウヤ「くっ」LP15↓13

金井「ターン終了」

トウヤ「僕のターン！ドロー、エナジーチャージ（エナジー1）！エナジー1で召喚！<イノシシ>」

イノシシ

ランク1／★／無 属／獣 類／戦騎士 類

コスト1★／攻3000／パワー3

??このゼーレは必ず攻撃しなければならない。

??「チャージ」

トウヤ「<小火ラビット>を召喚！」

小火ラビット

ランク1／★／炎 属／獣 類

コスト0／攻1500／パワー2

??「直攻」このゼーレは相手のゼーレを無視して相手に攻撃できる。

?? 「チャージ」

トウヤ 「バトル！イノシ士で赤土の騎士に攻撃！」

イノシ士

攻 3000

パワー 3

vs

赤土の騎士 撃破！

攻 2500 ↓ 0

パワー 2

トウヤ 「イノシ士のパワーは3！」

金井 「赤土の騎士のパワーは2…」

トウヤ 「ダメージ1だ！」

金井 「くっ、赤土の騎士は墓地に行かずにエナジーにチャージされる（エナジー2）」

LP15 ↓ 14

トウヤ「小火ラビットで攻撃！」

金井「ぐう」LP14↓12

トウヤ「ターンエンド」

金井「僕のターン、エナジーチャージ（エナジー3）、これで僕のエナジーは3だ、行くよ、エナジー3使い<黒土の双剣士>」

黒土の双剣士

ランク3 / ★ / 土 属 / 戦騎士 類

コスト3 ★ / 攻4500 / パワー4

??このゼーレが召喚されたら、自分の手札のランク2以下の<土 属>のゼーレ1体を「コスト」を払って召喚できる。

??「連撃1」（攻撃時、このゼーレは1回リブートする。）

金井「黒土の双剣士の効果で手札からランク1の<赤土の騎士>を再召喚！バトル！赤土の騎士で小火ラビットに攻撃！」

赤土の騎士

攻 2 5 0 0

パワー 2

v s

小火ラビット 撃破

攻 1 5 0 0 ↓ 0

パワー 2

トウヤ 「小火ラビットをチャージ！（エナジー 2）」

金井 「黒土の双剣士でイノシ士に攻撃！」

黒土の双剣士

攻 4 5 0 0

パワー 4

v s

イノシ士 撃破

攻 3 0 0 0

パワー3

トウヤ「うぐっ」LP13↓12

金井「連撃！黒土の双剣士で再攻撃！」

トウヤ「うわ！」LP12↓8

金井「ターン終了！」

トウヤ「僕のターン、ドロロー、エナジーチャージ（エナジー3）！よし、僕は＜小火ラビット＞を再召喚！さらに＜イノシシ＞を無コスト召喚！エナジー3払って召喚（エナジー3↓0）！タテガミをなびかせ剣を振るう獣騎士！＜獣騎士 レオン・ナイト＞！」

獣騎士 レオン・ナイト

ランク4／★★★／無 属／獣 類／戦騎士 類

コスト5★／攻5000／パワー5

??自分のバトルタイム開始時、相手のゼーレに5000ダメージ！

??「連撃1」

トウヤ「バトル！レオンナイトの効果で黒土の双剣士に5000ダメージ！」

金井「何ー!?？」

黒土の双剣士 破壊！

攻4500↓0

金井「そんな、一撃で…」

トウヤ「イノシ士で赤土の騎士を攻撃！」

赤土の騎士 撃破！

金井「う…」LP12↓11

トウヤ「小火ラビットで攻撃！」

金井「くっ」LP11↓9

トウヤ「レオンナイトで攻撃！」

金井「ぐわあ！」LP9↓4

トウヤ「これでトドメ！レオンナイトの連撃！もう一度攻撃！」

金井「ああ…、うわああ！」LP4↓0

金井「そんな、僕があつさり負けるなんて…」

トウヤ「さあ、2人に謝ってくれる？」

金井「…、市城 幹也君、東原 秋斗君…本当にごめんなさい！舎弟でもパシリでもするから許してください！」

幹也「お前、今謝って…」

東原「済むと思うのか？」

金井「ヒィ…！」

幹也「けど、まあ、トウヤに免じて許してやるよ、俺達も誤解させるような事しちまつたしよ…悪い！」

東原「俺も、反省するよ、ごめん！」

金井「そんな、君達まで謝らなくても…、誤解した僕が悪いのに…」

トウヤ「これで一件落着かな？金井君、デュエルしたら僕達はもう仲間だよ、仲良くしようね！」

金井「うん！ありがとう、トウヤ君、幹也君、東原君！」

東原「なんで俺だけ苗字だよ…」

それから金井君は帰って行つた…

――

幹也「けど、よく分かつたな俺達の事…」

トウヤ「うん、アスカが知らせてくれたんだ」

アスカ「感謝してよ？私が偶然見つけてなかつたら、もつとボコボコにされてたんだからね？」

幹也「ありがとよ、アスカ」

東原「ありがとうな」

トウヤ「僕からもありがとう！」

アスカ「トウヤ君…／＼／＼／＼／＼」

東原「お？（おい、幹也…、アスカって…）」

幹也（気づいたか…、わかりやすいよなあ）

アスカ ブレイブゼーレ デビュー

私、美風アスカは絶賛片想い中である。相手は 幻界トウヤ 君、小さい頃、近所の顔が怖いブルドッグから私を守ってくれたあの時から、私の中でトウヤ君は王子様になっていった…、そして私は今、その王子様にあるお願いをする！

勇気咲高校 昼休み

美風アスカはトウヤ君を屋上に呼び出した。あるお願いをする為に

アスカ「トウヤ君、昨日のデュエル凄くカッコ良かったよ！」

トウヤ「え？そうかな…、そんなでも無いよ…」

アスカ「それでね？トウヤ君、私も、ブレゼレ始めようかなって思ってた…」

トウヤ「え？そうなの？」

アスカ「うん、できれば放課後、ブレゼレ教えて欲しいなって…」

トウヤ「え？僕が？」

アスカ「うん！お願い…トウヤ君…」ウルウル

これが私の必殺技、涙目で上目遣い！この方法でトウヤ君に断られた事はないの！トウヤ君には効果抜群なんだから！

トウヤ「うぐっ…、はあ…分かったよ…」

アスカ「やった！トウヤ君大好き！」ギュー！

トウヤ「…：／／」ドキッ

嬉しさのあまり抱きついちゃった…：／／／

ー

放課後…、カードシヨツプ

アスカ「うわー！カードがいっぱい！」

トウヤ「うん、新しく始めるなら、ビギナーズデッキを買いと良いよ！」

アスカ「凄いい、ビギナーズデッキだけでこんなにあるんだ…」

トウヤ「うん、まず目に付いたやつを手に取ると良いよ」

アスカ「うーん…、あ！このデッキ良いかも！」

トウヤ「うん？天使類のデッキか」

アスカ「うん！絵がかわいいの！」

トウヤ「それじゃ、早速買って開けてみようか」
アスカ「うん！」

私はお会計を済ませてトウヤ君が待つテーブルに行く

アスカ「お待たせ、じゃあ早速教えてくれる？」

トウヤ「うん、じゃあ先ずは……」

トウヤ君は優しく分かりやすく教えてくれた。意外と楽しいかも！

トウヤ君が教え終わった後、私はすっかりブレイブゼーレの魅力にハマっていた！

アスカ「へへ、なかなか奥が深いんだね」

トウヤ「ああ、面白いだろ？」

アスカ「うん！それじゃ、ルールも覚えてし、早速デュエルしよう！」

トウヤ「僕は構わないけど、デッキケース買わないとね？好きな色選んでよ」

アスカ「え？うーん、ピンク！」

トウヤ「分かったよ、店長！ピンクのデッキケースーっ！」

店長「あいよ！彼女にプレゼントか？」

トウヤ「そんなんじゃないって…」

店長「ははは、照れんなよ！お待ちど！」

アスカ「ありがと、トウヤ君！」

トウヤ「じゃあデツキケースを腕に押し当てて、デツキケースが自動で腕の太さを…」

アスカ「太さ…？」ギロツ

ユウト「…う、腕の細さを感知して固定されるから、手首の少し上くらいがいいよ

…」

アスカ「はい、こう？」

トウヤ「うん…OK」

アスカ「じゃあやろつか！掛け声は…」

ゼーレ・リリース！

ー

幹也／東原「ちいす！」

店長「おお、幹也君、東原君」

幹也「おっちゃん、トウヤいる？」

店長「トウヤ君なら今デユエル中だぜ？見てみるよ」

東原「あれ、あいつって、アスカか？」

店長「ああ、アスカちゃんは今日ブレイブゼーレを始めたばかりだ。」

幹也「今日初めていきなりトウヤとデユエかよ…」

ー

トウヤ「僕の先攻、ドロロー、エナジーチャージ（エナジー）！エナジー払う（エナジー↓0）、＜暴れタイガー＞を召喚！」

暴れタイガー／★

攻2500／パワー2

トウヤ「コスト0で＜イノシ士＞を召喚！」

イノシ士／★

攻3000／パワー3

トウヤ「バトル、イノシ士で攻撃！」

イノシ士

パワー3

アスカ「きゃ！」LP15↓12

トウヤ「ターンエンド」

アスカ「私のターン、ドロ、エナジーチャージ（エナジー1）！<天使 アフィルク>を召喚！」

天使アフィルク

ランク1／★／光 属／天使 類

コスト0／攻2000／パワー2

??「直攻」

アスカ「コスト1払い（エナジー1↓0）、<天使 メルク>を召喚！」

天使 メルク／★／光 属／天使 類

コスト1★／攻3000／パワー3

??自分のターンに1回、自分の<天使>のゼーレ1体の攻撃力を+2000!
??このゼーレが破壊されたら、自分のライフを+2!

アスカ「行くよ!メルクの効果でメルク自身の攻撃力+2000!」

メルク

攻3000↓5000

アスカ「バトル!メルクでイノシ士に攻撃!」

メルク

攻5000／パワー3

vs

イノシ士 撃破!

攻3000／パワー3

「チャージ」 エナジー2

アスカ「天使アフィルの「直攻」でトウヤ君に攻撃！」

トウヤ「くっ…」LP15↓13

アスカ「ターンエンド」

トウヤ「僕のターン、ドロロー！エナジーチャージ（エナジー3）！エナジー2払い（エナジー3↓1）、＜豹戦士 パンサー＞を召喚！」

豹戦士 パンサー

リンク3／★／無 属／獣 類／戦騎士 類

コスト3★／攻4500／パワー4

??このゼーレが召喚された時、自分はカードを1枚ドロローする。

??このカードが相手のゼーレを破壊した時、相手にダメージ2！

トウヤ「エナジー1払い（エナジー1↓0）、＜切り裂きタイガー＞を召喚！」

切り裂きタイガー

ランク2 / ★ / 無 属 / 獣 類

コスト3 ★★ / 攻3500 / パワー3

?? 「連撃1」 「チャージ」

トウヤ 「バトル！切り裂きタイガーでメルクに攻撃！」

切り裂きタイガー

攻4500 / パワー3

vs

天使メルク

攻5000 ↓ 500

パワー3

トウヤ 「切り裂きタイガーの連撃！もう一回攻撃！」

天使メルク 撃破！

アスカ「メルクが破壊されたらライフ2回復（LP12→14）！」
トウヤ「豹戦士パンサーでアフィルに攻撃！」
アスカ「カウンタートリガー！<光力解放>！」

光力解放

カウンタートリガー

??「自分と相手の攻撃中」

??自分の「光」のゼーレがバトルする時、そのゼーレの攻撃力+3000！

アスカ「これで、アフィルのパワーを+3000よ！」

豹戦士パンサー

攻4500

パワー4

vs

天使アフィル

攻20000↓50000↓5000

パワー2

トウヤ「ターンエンド…」

アスカ「私のターン！今のタイミングでアファイルのダメージは回復するんでしょ？」

天使アファイル

攻5000↓20000

トウヤ「ああ！」

アスカ「エナジーチャージ（エナジー2）！トリガー発動＜エンジェルエナジー＞！」

エンジェルエナジー

ノーマルトリガー

??自分の＜天使 類＞がいる時、自分のデツキからエナジー+2

アスカ「エナジー+2（エナジー4）！＜天使 イルク＞を召喚！」

天使イルク

ランク2／★／光 属／天使 類

コスト1★／攻2500／パワー2

??このゼーレを召喚した時、相手のゼーレ1体の攻撃力を2000ダウンさせる。

??「チャージ」

アスカ「イルクの効果で豹戦士パンサーの攻撃力を2000ダウン！」

豹戦士パンサー

攻4500↓2500

アスカ「そろそろ出すわよ！私の切り札！歌え勝利の為に！エナジー3使い（エナジー4↓1）、＜大天使 ミライア＞を召喚！」

大天使 ミライア

ランク4／★★★／光 属／天使 類

コスト5★★★／攻5000／パワー5

??自分のバトルタイム開始時、相手のゼーレ全ての攻撃力2000ダウン！パワー2

ダウン！

??自分のこのカード以外のく天使 類>のゼーレが攻撃したら、自分のエナジのカード1枚墓地に送る、攻撃しているゼーレをリブートする。この効果は1ターンに1度だけ使える。

「連撃1」

アスカ「行くよ！バトル！ミライアの効果で相手のゼーレを弱体化！」

豹戦士パンサー

攻2500↓500

パワー4↓2

切り裂きタイガー

攻4500↓2500

パワー3↓1

アスカ「天使アファイルで豹戦士パンサーに攻撃！」

天使アファイル

攻2000

パワー2

vs

豹戦士パンサー 撃破！

攻500↓0

パワー2

アスカ「天使イルクで切り裂きタイガーに攻撃！ミライアの効果でエナジー1枚を墓地に捨てる（エナジー3）、イルクをリブート！」

天使イルク

攻2500

パワー2

vs

切り裂きタイガー 撃破！チャージ エナジー4

攻2500↓0

パワー1

トウヤ「うっ」LP13↓12

アスカ「天使イルクでユウトに再攻撃！」

トウヤ「くう」LP12↓10

アスカ「大天使ミライアで攻撃！」

トウヤ「うわあ」LP10↓5

アスカ「行っちゃえ〜！連撃でミライアをリブート！再攻撃！」

トウヤ「カウンタートリガー！<戦士の意地！>」

戦士の意地

カウンタートリガー

??「相手のゼーレの攻撃時」

??自分のライフ+2！

トウヤ「ライフ2回復（LP5↓7）！うわああ！」LP5↓2

アスカ「!? ターンエンド」

トウヤ「僕のターン！ドロ〜！エナジーチャージ（エナジー5）、コスト5で召喚！<獣騎士 レオン・ナイト>、さらに<ナイト・ベアー>を召喚」

ナイト・ベアー

ランク3／★／無 属／獣 類／戦騎士 類

コスト2★★／攻3000／パワー3

??自分の場の<獣 類>のゼーレ全ての攻撃力を+1000!パワー+1!

??このゼーレが攻撃した時、相手のゼーレ1体にダメージ2000!

トウヤ「バトル!レオンナイトの効果でミライアに5000ダメージ!」

大天使ミライア 破壊!

攻5000↓0

アスカ「ミライア!」

トウヤ「ナイトベアアで天使イルクに攻撃!攻撃時、アフィルに2000ダメージ!」

天使アフィル 破壊!

攻2000↓0

ナイトベアア

攻 3000

パワー 3

vs

天使イルク 撃破！

攻 2500 ↓ 0

パワー 2

アスカ 「くっ」 LP 14 ↓ 13

トウヤ 「レオンナイトでアスカに攻撃！ ナイトベアーの効果でパワー6！」

アスカ 「くう！」 LP 12 ↓ 6

トウヤ 「レオンナイトの連撃！ もう一度攻撃！ カウンタートリガー発動！ <獅子剣技
>

獅子剣技

カウンタートリガー

?? 「自分のゼーレの攻撃中」

?? 攻撃している自分の<獣 類>のゼーレの攻撃力 + 2000！ パワー + 2！

トウヤ「これでレオンナイトのパワーは8！」

アスカ「パワー8!? きゃああ！」LP5↓0

アスカ「ああ、負けちゃった…、けど楽しかった」

トウヤ「ひやひやしたよ、さすがに…天使類とはあまり戦わないからね…、慣れてな
かった…」

アスカ「よし！決めた！私、天使類極める！」

トウヤ「その意気だよ、アスカ」

ムキムキの強面店長

幻界トウヤには行きつけのカードショップがある。

カードショップ 勇魂豪

このカードショップは〈ブレイブゼーレ〉完全専門のお店である。このショップはブレイブゼーレの初心者から上級者まで、幅広いデュエラーが立ち寄る実力ある店なのだ。

幻界トウヤはこのカードショップでブレイブゼーレを学び、このショップ大会でチャンピオンの称号を得た。そしてこの店には名物店長がいる。天龍 豪禍

ムキムキで堅いがよく、スキンヘッド、182センチはあろうかという高身長で、全身筋肉男：いや、漢なのだ。

子供達からは人気があるが、見た目のおかげでガラの悪い男達や不良達からはかなり恐れられている。本人曰くただ普通に話しかけているだけだと言う。未だにそのギャップの秘密が分からない。前にもこんな事があったそうだ：

――

ある日、店でカードパックを買っていたお客がいた。

ガラの悪い男「おい、兄ちゃん！」

店員「はい、何でしょう？」

ガラの悪い男「何でしょうじゃねえよ！この店のカードパックはどうなってんだ？あぁ？<ブレイブ・レア>が全然でねーじゃねーかよ！」

ガラの悪い男2「こちら10パックも金使ったんだぜ？この店の封入率はどうなってんだ!?!？」

店員「そんな事言われましても…、封入率はどれも平等で…」

ガラの悪い男「何が平等だコラ！」

店員「ヒイツ」

ガラの悪い男2「めーじゃ話になんねえ！店長呼べよ店長！」

店員「て、店員ー！店長ー！」

店長「どうかしたのかね？村田君？」

店の置くからムキムキで堅いのいい、店の制服がぴちぴちの大漢が現れる…

店員「お客様が…」

店長「お客様？うちの店員が何か粗相でもしましたか？」

ガラの悪い男「あ、いや…、と、とても素晴らしい対応をしてくれたので…：…な、なあ？」

ガラの悪い男2「そ、そうなんです…！あの、どんな素晴らしい店長さんかと確認したくて…：…」

店長「そうですか、それはありがとうございます。」

ガラの悪い男「そ、そう言う事で僕たちは失礼しました！」

ガラの悪い男2「ヒィ〜」

店長「ちよつと待ちなさい!!」

ガラの悪い男達「ビクッ」

店長「またのお越しをお待ちしています。」

――

と言う事があつたそうな…

因みに、ユウト達を通う勇氣咲高校の理事長も勤めている。

――

勇氣咲高校 終業式

職員「では、挨拶をお願いします。理事長…」

理事長「うむ！」

理事長がステージから現れた時、生徒全員驚愕した。それもそうだ。理事長はふんどし以外何も着ていないのだ！ピンクの縮れアフロのカツラは付けている。

校長「理事長！なんて格好してるんですか？？」

理事長「良いじゃないの！皆さん、この1学期は良く元気で過ごしてくれた！そして、今年入学して来た1年生の皆もこの学校の環境にも慣れて来た頃だろう、だが明日から皆が待ち焦がれた夏休みが始まる。皆、良く食べて、良く飲んで、良く学び、良く運動し、良く遊び、この俺のように筋肉と精神力を鍛え上げて2学期を迎えたまえ！俺の話は以上だ、良い夏休みを！礼！」

職員「り、理事長、ありがとうございます…、これより終業式を終わります。皆さん良い夏休みを」

――

教室

幹也「ん〜！終わったな〜！」

東原「しっかり驚いたな〜、理事長のはじけっぷり」

アスカ「良い事は言つてたけど、あの格好はね〜」

トウヤ「ははは…ピンクのアフロのカツラも凄かったね…」スマホ ヴヴヴヴ

トウヤ「ごめん電話…、ピツ、もしもし？ああ、豪禍さん、うん、分かりました。帰りに取りに行きます。はい！」

幹也「トウヤ、誰からだ？」

トウヤ「行きつけのカードショップからだよ、皆も一緒に来る？」

東原「良いのか？じゃあ行こうぜ！」

アスカ「私も行く！」

トウヤ「じゃあ行こう」

ー

カードショップ 勇魂豪

トウヤ／アスカ「こんにちは〜」

幹也／東原「ちわ〜つす」

「おう、来たか、トウヤ君！」ヌツ

奥から筋肉がムキムキで店の制服がぴちぴちのスキンヘッドでグラサンをかけた強面の男が出て来る

幹也／東原「怖！」

アスカ「あれ？この人……」

トウヤ「こんにちは、豪禍さん！」

豪禍「おう、久しぶりだなトウヤ君、友達も一緒かい？」

幹也「はい！市城幹也つす！トウヤ君とは仲良くさせてもらっています！」

東原「東原秋斗つす！俺たちとトウヤ君は親友です！な！」

トウヤ「え？あ、うん」

豪禍「そうかそうか！歓迎しよう！店長の天龍 豪禍（ごうか）だ。」

アスカ「あの、失礼ですけど……、理事長ですよね？」

幹也／東原／豪禍「!?？」

アスカ「何で理事長まで驚愕してるんですか……」

豪禍「な、なぜ分かった……」

アスカ「何となく、理事長のカツラを取ったらこんな感じかな……って」

豪禍「ま、まさか……、ただそれだけで……、恐ろしい娘!?？」

トウヤ「それより豪禍さん、予約した新パック出してくださいよ」

豪禍「おっと、そうだった！ちよつと待ってるよ」

豪禍は店の奥へ物を取りに行く

幹也「しっかし、おっかね〜！」

東原「見た目だけで人殺せるぜ、ありや…」

トウヤ「でも優しい人だよ、子供にも人気だしね」

幹也「そうなのか!?!？」

トウヤ「うん、不良とかは怖がるけどね」

東原「そりゃそうだろ…」

アスカ「インパクト凄いよね…」

店の奥から店長がブツを持って来た

豪禍「お待たせ、最新パック4BOXだ！」

トウヤ「ありがとう、豪禍さん！はいお金」

豪禍「まいど！」

幹也「俺たちにも見せてくれよ！」

東原「俺も！」

アスカ「私も！」

——

しばらくして…

トウヤ「出来た！新しいデッキ！豪禍さん、デュエルお願いします！」

豪禍「新デッキが出来たか、良いだろう！デュエルだ！」

最強の漢 筋肉デツキ

トウヤは最新弾のパックを開封して新しいデツキを完成させた。

そして、テストを兼ねて、カードショップ勇魂豪の店長、天龍豪禍にデュエルを挑む

！

幹也「あの店長、デュエル強いのか？」

店員「ええ、強いですよ」

アスカ「あなたは？」

店員「あの、僕はここの店員の村田です。」

東原「村田さん、あの店長どれだけ強いんだ？」

村田「店長はトウヤ君のブレイブゼーレの師匠ですからね」

アスカ「トウヤ君の師匠…」

村田「けど、あの2人は90回以上デュエルしてますが、お互いに45勝45敗…未だにケリはついていないからね」

幹也「マジかよ…」

——

豪禍「良いのか？新しいデッキを試す相手がいきなり俺で」

トウヤ「良いよ、豪禍さんはちょうどいい練習台だから」

豪禍「ふふ…言ってくれる…、ユウト君、今回からブレイブゼーレのルールが少し変わった」

トウヤ「え？」

豪禍「場に出せるゼーレはランクの合計が6になるまでしか出せないそうだ…」

トウヤ「例えば、ランク3のゼーレが2体までしか出せないって事？」

豪禍「ああ、その例えで間違いない。とにかく、場に召喚できるゼーレはランク6まで、それ以上は召喚できないからな」

トウヤ「分かりました。行きますよ！掛け声は…」

ゼーレ・リリース

豪禍「俺からだ、ドロー、エナジーチャージ（エナジー）！＜漢の咆哮＞」

漢の咆哮

ノーマルトリガー

■自分にダメージ2与え、自分のデッキから2枚エナジーに置き、カードを1枚引く。
 “漢の咆哮”はターン中1度だけ使える。

豪禍「俺自身にダメージ2を与え（LP15↓13）、デッキから2枚チャージ（エナジー3）、1ドロー！エナジー3払い＜祭り漢 フェステイ・ボール＞召喚！」

祭り漢 フェステイ・ボール

ランク3 / ★★ / 無 属 / 漢 類

コスト3 ★ / 攻4500 / パワー3

??自分の場にこのカード以外の＜漢 類＞のゼーレがない時、このカードは「チャージ」を得る。

「連撃 1」

——

幹也「漢類？初めて聞いたぜ、そんなの」

村田「でしようね、漢類は店長がカード製作の友人に無理言つて作りあげた店長しか持っていない店長だけの種類ですからね…」

東原「マジかよ…」

アスカ「ムサ苦しい…」

ー

豪禍「行くぞ、トウヤ君！フェステイ・ボールでトウヤ君に攻撃！」

トウヤ「ぐあつ」LP15↓12

豪禍「ターンエンド！」

トウヤ「行くよ、僕の新デッキ！僕のターン、ドロー！エナジーチャージ（エナジー1）、トリガー＜エナジープラス＞」

エナジープラス

ノーマルトリガー

??自分のデッキの上から2枚エナジーに置く。

トウヤ「エナジー+2（エナジー3）！早速新カード、エナジー2で召喚！＜戦獣ソードライガー＞」

戦獣 ソードライガー

ランク2 / ★ / 無 属 / 獣 類

コスト2 ★ / 攻3500 / パワー3

!! このゼーレが召喚されたターンだけ、このゼーレの攻撃力+1000 / パワー+1

?? 「チャージ」

トウヤ「さらに、エナジーで（エナジー0）召喚！<戦獣 サイ・アックス>」

戦獣 サイ・アックス

ランク3 / ★ / 無 属 / 獣 類

コスト2 ★ / 攻3000 / パワー3

!! 自分のバトルタイム中、自分の場に他の<戦獣>ゼーレがいるなら、このゼーレのパワー+1!

?? 「チャージ」

トウヤ「戦獣ソードライガーは召喚されたターンだけ攻撃力とパワーが上がる」

ソードライガー

攻 3 5 0 0 ↓ 4 5 0 0

パワー 3 ↓ 4

トウヤ「バトル！ソードライガーでフェスティ・ボールに攻撃！」

ソードライガー

攻 4 5 0 0

パワー 4

vs

フェスティ・ボール

攻 4 5 0 0

パワー 3

豪禍「カウンタートリガー！<筋肉膨張秘術プロテイン>！」

筋肉膨張秘術プロテイン

カウンタートリガー

!!相手にダメージ1！そして、自分の<漢 類>のゼーレ1体の攻撃力を+4000

！

豪禍「フェステイ・ボールの攻撃力+4000! トウヤ君にダメージ1!」

トウヤ「くっ」LP12↓11

フェステイ・ボール

攻4500↓8500↓4000

トウヤ「くっ、サイ・アックスで攻撃しても倒せない、ターンエンド」

豪禍「俺のターン! ドロー、エナジーチャージ(エナジー4)、俺はダメージ5を受けて(LP13↓8)コストを4にして、エナジー2を払い召喚! 見よ! この美しい筋肉を! しなやかな肉体を! 鋼の腹筋を! <羅漢王 アルバート5世>!」

羅漢王 アルバート5世

ランク5 / ★★ / 土 属 / 漢 類

コスト6 ★★ ★ / 攻10000 / パワー4

??このゼーレを召喚する時、自分はダメージ5を受けてこのカードのコストを2減らす。この効果を使って召喚した時、このゼーレのパワー+3! (このターン中ではない

ので、パワーダウンしないぞ！)

??このゼーレは相手のゼーレを全て選んで攻撃できる。

祭り漢 フェステイ・ボール 生滅

豪禍「効果を適用して召喚したアルバート5世は打撃+3される。」

アルバート5世

パワー4↓7

――

幹也「おいおい、攻撃力10000でパワー7ってありかよ!?!?」

東原「マジヤベェよ…」

――

トウヤ「豪禍さんの新カード…?」

豪禍「そうだ、アルバート5世で攻撃!このゼーレは相手のモンスター全てを選んで

攻撃できる!」

トウヤ「何!?!?」

アルバート5世

攻 1 0 0 0 0

パワー 7

v s

戦獣 ソードライガー

攻 3 5 0 0 ↓ 0 撃破!

パワー 3

7 | 3 || 4

&

戦獣 サイ・アックス

攻 3 0 0 0 ↓ 0 撃破!

パワー 3

7 | 3 || 4

4 + 4 || 8

トウヤ 「ぐあああ!」 LP 1 | 1 ↓ 3

1 | 1 |

3 人 「トウヤ (君) !」

1 | 1 |

トウヤ「ソードライガーとサイ・アックスをチャージ（エナジー3↓5）…僕のターン！」

覚醒召喚

トウヤ LP3 エナジー5

豪禍 LP8 エナジー4

羅漢王 アルバート5世

――

幹也「豪禍さんとトウヤのライフ差は5…」

アスカ「このターンでどうにかしないと…」

東原「けど豪禍さんのゼーレの攻撃力は10000…」

――

トウヤ「僕のターン！ドロー！エナジーチャージ（エナジー6）！エナジー5払い召

喚！タテガミ靡かせ剣を構えろ！＜獣騎士 レオン・ナイト＞」

獣騎士レオン・ナイト

ランク4／★★★

コスト5／攻5000／パワー5

トウヤ「さらに＜戦獣 火炎ラビット＞」

戦獣 火炎ラビット

ランク1／★／炎 属／獣 類

コスト1★／攻3000／パワー3

??このゼーレが召喚された時、君の裏向きのエナジー1枚を表向きに戻す。

??「チャージ」

トウヤ「バトル！レオンナイトの効果でアルバート5世にダメージ5000！」

アルバート5世

攻10000↓5000

トウヤ「レオンナイトでアルバート5世に攻撃！」

豪禍「カウンタートリガー＜これぞ！鋼のボデイ！＞」

これぞ！鋼のボデイ！

カウンタートリガー

??君のエナジー1枚墓地に送る、君のく漢 類>のゼーレはこのバトル中ダメージを受けない。

豪禍「エナジーをコストに（エナジー3）、アルバート5世はダメージを受けない！」
トウヤ「レオンナイトの連撃！」

豪禍「カウンタートリガー<返しラリアット>」

返しラリアット

カウンタートリガー

??相手のゼーレの攻撃中、自分のエナジー1枚墓地に送り、そのゼーレに2000のダメージ！

豪禍「エナジーをコストに（エナジー2）、レオンナイトに2000ダメージ！」

レオンナイト

攻5000↓3000

vs

アルバート5世

攻5000↓2000

トウヤ「くう、火炎ラビットでアルバート5世に攻撃！」

豪禍「まだだ！アルバート5世はやらせん！カウンタートリガー＜筋肉膨張秘術プロテイン＞アルバート5世に+4000！」

火炎ラビット

攻3000

vs

アルバート5世

2000↓6000↓3000

トウヤ「ターンエンド」

豪禍「この分だと、俺の勝ちかな？俺のターン」

アルバート5世

攻3000↓10000

豪禍「エナジーチャージはしない、バトル！アルバート5世でレオンナイトと火炎ラビットに攻撃！」

トウヤ「僕だつてまだ負けない、最後の手札、カウンタートリガー＜戦獣の咆哮＞！」

戦獣の咆哮

カウンタートリガー

?? 「相手の攻撃時」

?? ランク3以下の<獣 類>は今のバトルで破壊されない、さらに自分のランク+2

!

トウヤ 「火炎ラビットの破壊を無効にしてライフ回復(LP3↓5)！」

アルバート5世

攻10000

パワー7

v s

レオンナイト

攻5000↓0 撃破!

パワー5

7 | 5 || 2

豪禍 「だが、レオンナイトを破壊した分のダメージを受けろ！」

トウヤ 「ぐあつ」 LP5↓3

豪禍「ふむ、ターンエンド！」

トウヤ「僕のターン！ドロー！エナジーチャージ（エナジー6）！」

その時、トウヤの眼に蒼い光が灯る！

豪禍「!?？」

トウヤ「限界の先にこそ…、真の世界がある！限界を超える我が魂！エナジー4払い（エナジー2）、火炎ラビットをコストにして覚醒召喚！<超・戦獣 ライジング・レオン>」

超・戦獣 ライジング・レオン

リンク5 / ★★ / 光 属 / 獣 類

コスト5 ★★ / 攻5500 / パワー6

??「覚醒召喚」コスト支払い後、自分のゼーレ1体を墓地に送る。

??自分のバトルタイム開始時、相手のゼーレ1体にダメージ4500！さらに相手の

ゼーレ1体のパワー3ダウン！

?? 「連撃1」

トウヤ「バトル！ライジングレオンの効果！バトルタイム開始時にアルバート5世に4500ダメージ！さらにパワー3ダウン！」

アルバート5世

攻10000↓5500

パワー7↓4

豪禍「!?？」

トウヤ「ライジングレオンでアルバート5世に攻撃！」

ライジング・レオン

攻5500

パワー6

vs

アルバート5世

攻5500↓0

パワー4

アルバート5世 撃破！

6 | 4 || 2

豪禍 「ぐうつ」 LP 8 ↓ 6

トウヤ 「ライジングレオンの連撃！ライジングレオンで再攻撃！」

豪禍 「おお…、ぐああああ!!」 LP 6 ↓ 0

豪禍 「やるな、俺の負けだ…」

トウヤ 「いや、ほんとに危なかつたですよ…」

幹也 「凄えぜ！」

アスカ 「さすがトウヤ君！」

東原 「マジ凄えぜ！」

豪禍（トウヤ君が一瞬見せた眼の光…、彼なら滅亡の復活を止められるかもしれないな…）

小学生の上級者デュエラー

午前10時05分、カードショップ 雄魂豪 この店に1人の女の子が入って来る

「こんにちは〜！」

豪禍「いらっしやい！って、瑠奈（ルナ）ちゃん…また学校抜けて来たのかい？」

瑠奈「だって学校つまんないもん！今日の授業だって先週家庭教師から習ったのと同じだし、あと先生の説明が下手くそだもん…、1日中ブレイブゼーレやってた方が楽しいし！店長さんデュエルしよう！」

豪禍「ふう、仕方ないな…」

姫城 瑠奈 9歳

勇気咲小学校の3年生

実家は有名なカード会社から海外の企業にも精通している大会社、その1人娘だ。ブレイブゼーレでの実力は高く、ブレイブゼーレの最新システムも先行体験している。因みに1週間に2回は学校を抜け出してカードショップ 雄魂豪に入り浸っている。店のスタッフ全員とは仲良し

である。

午後4時、トウヤ達は雄魂豪にやって来た。

トウヤ／アスカ「こんにちは〜」

幹也／東原「ちわ〜つす」

瑠奈「これでとどめ！」

豪禍「おお…、また負けか、強いな瑠奈ちゃん…」

瑠奈「えへへ〜！あ、トウヤお兄ちゃん！」

トウヤ「瑠奈ちゃん、今日も来てたの？」

瑠奈「うん！」

アスカ「ねえトウヤ君、あの娘は？」

トウヤ「ああ、この子は…」

瑠奈「初めまして！ルナは姫城ルナです！よろしくね〜！」

アスカ「いや〜ん！何この娘…、ちよ〜かわいい〜！」モギユ――

これから瑠奈はカタカナで表記します。

ルナ「トウヤお兄ちゃん！ルナとデュエルしよう？」

トウヤ「え？僕と？別にいいけど……」

幹也「ちよつと待った！ルナちゃん？悪いな、トウヤは今、俺とデュエルするんだ、少し待ってくれるかな？」

ルナ「え……、お兄ちゃん、お名前は？」

幹也「ん？俺は市城 幹也だ」

ルナ「幹もお兄ちゃん……、じゃあミツキーだね！」

幹也「み、ミツキー……？」

ルナ「ミツキー……、初心者でしょお？」

幹也「え、何で分かるんだよ……？」

ルナ「だってルナの事知らないみたいだし、それに、初心者っぽい顔してるし……！」

幹也「うぐ……っ」

ルナ「あとは……、うん！全体的に弱そうだし、頭悪そうだし！」

東原「あゝあ、ボロクソ言われてるわ……」

アスカ「しかも、ほぼ事実だし……」

幹也「なつ、このガキ…、トウヤ…悪いけどよ、今日は相手しなくて良いわ…、代わりにこのガキ！俺とデュエルだ！」

ルナ「え？嫌よ、初心者とデュエルしてもルナの経験値にならないもん、ルナはこれでも上級者だよ？初心者じゃルナには勝てるわけないよ！」

幹也「逃げるのか？お前上級者なんだろう？初心者に背中向けちまって良いのか？」

ルナ「え？」

幹也「あゝ、分かったぜ？上級者の自分が初心者に負けるかもしれないって思っただけだろ？」

ルナ「な、何言ってるの！？ルナが初心者に負けるわけないじゃん！怖くも無いし！良いよ！デュエルしてあげるもん！」

幹也「よし！決まりだな…（上級者と言ってもやっぱり小学生だけ、安い挑発に乗って来やがる。）」

ー

トウヤ「幹也君、このカードを」

幹也「これは？」

トウヤ「幹也君に渡そうと思ってたカード、まさかこんな形で渡す事になるなんて、頑張っ、ルナちゃんはほんとに強いからね？」

幹也「ありがとよトウヤ、ルナに初心者の可能性を見せてやるぜ」

――

ルナ「ルナは優しいから初心者のお兄ちゃんに本気は出さないよ！」

幹也「ナメんなよ！」

ルナ「行くよー！掛け声は…」

ゼーレ・リリース

ルナ「ルナから行くよー！ドロ、エナジーチャージ（エナジー1）、エナジー1払い（エナジー1→0）、＜用心棒 銃撃のガンマ＞を2体召喚！」

用心棒 銃撃のガンマ

ランク1／★／無 属／戦騎士 類

コスト1★／攻3000／パワー2

??このゼーレが召喚されたら、自分のデッキから1枚エナジーに置く

??「チャージ」

ルナ「ガンマの効果でエナジーを増やすよ、2体召喚したから、2チャージ（エナジー1↓3）！エナジー2払い（3↓1）＜用心棒 奇術のケイロン＞を召喚！」

用心棒 奇術のケイロン

ランク2 / ★ / 無 属 / 戦騎士 類

コスト3 ★ / 攻500 / パワー1

??このゼーレが召喚されたら、1つ選んで使える。

1. 場のこのカード以外のカード全て手札に戻す。
2. このゼーレを墓地に送って、場のカードを全てデッキに戻す。

ルナ「ケイロンの効果でケイロン以外のカード全て手札に戻す。そして＜用心棒 銃撃のガンマ＞を2体再召喚！召喚時にエナジーチャージ（エナジー1↓3）、バトル！ガンマで攻撃！」

幹也「うお！」LP15↓13

ルナ「ターンエンド！」

——

アスカ「凄い、最初のターンなのにエナジーにカードが5枚あるわ！」

トウヤ「ルナちゃんはここ以外のシヨップ大会で1位く3位に何度も入賞しているからね…別の店に行くとりストにルナちゃんの名前を良く見るよ…」

東原「幹也のやつ、とんでもねえガキに喧嘩売ったのか…」

ー

幹也「俺のターンだ！いきなりエナジー5、ゼーレ3体かよ…、ドロ、エナジーチャージ(エナジー)！俺は<疾風のスズメイル>を召喚！さらに<疾風のツバメイル>召喚！」

疾風のスズメイル

ランク1／★／風属／鳥 類

コスト0／攻2500／パワー2

??「チャージ」「直攻」

疾風のツバメイル

ランク2／★／風 属／鳥 類

コスト2 ★★／攻3000／パワー2

??このゼーレが召喚されたら、自分のデッキから1枚エナジーに置く。

?? 自分の場のゼーレがエナジーに置かれた時、自分のゼーレ1体に攻撃力+20000する。(このカードがエナジーに置かれても発動する。)

?? 「チャージ」

幹也 「ツバメイルの効果でエナジーを増やす(エナジー2)バトル! 疾風のスズメイル直攻でルナに攻撃!」

疾風のスズメイル

攻2500

パワー2

ルナ 「いやっ」 LP15↓13

幹也 「疾風のツバメイルで用心棒 銃撃のガンマに攻撃!」

疾風のツバメイル

攻3000

パワー2

vs

銃撃のガンマ 撃破! チャージ(エナジー6)

攻30000↓0

パワー2

幹也「ターンエンドだ」

ルナ「ルナのターン、ドロロー、エナジーチャージ（エナジー7）！コスト3（エナジー7↓4）で召喚！＜用心棒 霧のレイン＞」

用心棒 霧のレイン

ランク3 / ★★ / 無 属 / 戦騎士 類

コスト4 ★ / 攻2000 / パワー2

?? 自分のバトルタイム開始時、相手か自分のゼーレを1体選んで墓地に送る。

?? 「連撃5」（このゼーレが攻撃したら5回までリブートする。）

用心棒 奇術のケイロン ランクオーバー 生滅

ルナ「行くよ！初心者のお兄ちゃん！霧のレインでスズメイルに攻撃！1回目！」

霧のレイン

攻2000

パワー2

vs

スズメイル

攻2500↓500

パワー2

ルナ「霧のレインの連撃！スズメイルに2回目の攻撃！」

スズメイル

攻500↓0 撃破！チャージ（エナジー3）

ルナ「レインでツバメイルに攻撃！3回目！」

霧のレイン

攻2000

パワー2

v s

ツバメイル

攻 3000 ↓ 1000

パワー 2

ルナ 「霧のレインで 4 回目の攻撃！」

ツバメイル

攻 1000 ↓ 0 撃破！ チャージ (エナジー 4)

ルナ 「霧のレインで 攻撃！ 5 回目！」

幹也 「ぐあつ」 LP 13 ↓ 11

ルナ 「霧のレインで 6 回目の攻撃！」

幹也 「うぐつ！」 LP 11 ↓ 9

ルナ 「ガンマで 攻撃！」

幹也 「ぐうう」 LP 9 ↓ 7

ルナ 「ターン エンド！」

幹也 「く…、 まだだ！ 俺の ターン！」

幹也 vs ルナ

幹也 LP7 エナジー4

ルナ LP13 エナジー7

用心棒 霧のレイン

用心棒 銃撃のガンマ

幹也「俺のターン！ドロー！エナジーチャージ（エナジー5）！エナジー3（エナジー5↓2）でく疾風のモズ・メール」

疾風のモズ・メール

ランク3 / ★★ / 風 属 / 鳥 類

コスト3 ★ / 攻4000 / パワー4

??このゼーレが召喚されたら、自分の裏向きのエナジー1枚を表向きにする。

??このゼーレが攻撃した時、相手のゼーレ1体のパワー2ダウン

「連撃1」「チャージ」

幹也「モズメールの効果でエネルギー回復（2↓3）！行くぜ、トウヤから貰ったカード、俺の切り札！エネルギー3払い（3↓0）召喚！<疾風鳥 トラファルド>！」

疾風鳥 トラファルド

ランク5 / ★★風 属 / 鳥 類

コスト5 ★★ / 攻5000 / パワー3

??このゼーレが攻撃した時、このゼーレの攻撃力以下の相手のゼーレ1体を相手の手札に戻す。

??「バトルタイム中」ライフ1払う、このターンの間、自分のゼーレ全てに「直攻」を与える。

??「連撃1」

疾風のモズメール 生滅 チャージ（エネルギー0↓1）

幹也「さらにく疾風のスズメールを召喚！」

疾風のスズメール

ランク1／コスト0／攻2500／パワー2

幹也「行くぜ！バトル！ライフ1払い（LP8↓7）、俺のゼーレ全てに「直攻」を与える。トラファルドでルナに攻撃！攻撃時にトラファルドの攻撃力以下のゼーレを手札に戻す！トラファルドの攻撃力は5000！霧のレインを手札に戻すぜ！」

霧のレイン バウンス

ルナ「!?？」

幹也「行け！トラファルド！」

ルナ「うああ！」 LP13↓10

幹也「トラファルドで再攻撃！」

ルナ「いああ！」 LP10↓7

幹也「スズメイルで攻撃！トラファルドの効果で直攻！」

ルナ「ぐうう」 LP7↓5

幹也「ターンエンドだ……」

ルナ「そんな、ルナのライフが、初心者のお兄ちゃん相手に5まで下がるなんて……」
 幹也「思ってもいなかったろ？初心者相手に追い詰められるなんて、初心者だから勝てないとか、勝手に決めつけんな」

ルナ「ふ、ふん！お兄ちゃんの運が良いだけだもん！」

幹也「運も実力の内って言うだろ？」

ルナ「うゝ！ルナのターン！ドロー！エナジーは7枚だからチャージはしないよ！エナジー6払い（LP7↓）、ルナの切り札！＜用心棒 最凶のローフェン＞！召喚！」

用心棒 最凶のローフェン

ランク6／★／無 属／戦騎士 類

コスト6／攻15000／パワー10

??このカードは君のエナジーにカードが6枚以上なければ召喚できない。

??自分はこのゼーレ以外のゼーレを召喚できず、効果を使えない。

??このゼーレが直接攻撃で相手に与えるダメージは5になる。

「通撃」（このゼーレの攻撃で相手のゼーレを破壊できなくても、相手にパワーの差のダメージを与える。）

幹也「攻撃力15000でパワー10だと!?？」

ルナ「これがルナの本気！」

――

東原「おいおい、なんてバケモン出してんだ!?？」

豪禍「まずいな、あのゼーレ……」

トウヤ「うん……」

アスカ「幹也……」

――

ルナ「行くよ！バトル！用心棒 最凶のローフェンで疾風鳥トラファルドに攻撃！」

最凶のローフェン

攻15000

パワー10

vs

疾風鳥トラファルド

攻5000

パワー3

幹也「くっ、カウンタートリガー！<ウインドバリア>！」

ウインドバリア

カウンタートリガー

自分の「風 属」のゼーレの1体の破壊は無効化する。

幹也「これでトラファルドの破壊は無効だ！」

――

トウヤ「ダメだ！幹也君！」

――

ルナ「最凶のローフェンの「通撃」発動！」

幹也「通撃!?!？」

――

東原「通撃？何だ？」

トウヤ「通撃はゼーレを破壊できなくてもダメージを与えられる効果だよ……」

アスカ「どう言う事？」

豪禍「通常の戦闘ダメージはバトルで相手のゼーレを破壊して初めて相手にダメージを与えられる」

トウヤ「けど通撃は相手のゼーレに攻撃して、そのゼーレを破壊できなくても、パワーの差のダメージを与えられるんだ！」

東原「じゃあ幹也は…」

ー

ルナ「最凶のローフェンのパワーは10！」

幹也「トラファルドのパワーは3…」

ルナ「通撃で7ダメージ！」

幹也「うわああああ！」LP7↓0

ルナ「ルナの勝ちだね！」

幹也「くそ！負けた…」

ルナ「ほんとの負けはルナの方だよ…？」

幹也「は？」

ルナ「ルナは初心者のお兄ちゃんに本気は出さないって言ったけど、結局、切り札を使わされたからね、今回はミッキーの勝ちで良いよ」

幹也「お前…、だったら引き分けにしようぜ！バトルではルナが勝ったでも俺はお前に本気を出させた…、どっちも勝ちなら引き分けでいいだろ？」

ルナ「分かった…、今日は引き分け！そろそろ時間だからルナは帰るね！バイバイ！」

東原「なかなか物分かり良いじゃねえか」

トウヤ「多分、幹也君の実力を認めたんじゃないかな？」

幹也「だと良いけどな…」

——

次の日…勇魂豪

ルナ「ミツキー！デュエルしよう、今日は本気出さずに勝つからね！」

幹也「お前…、全然認められてねえ〜！！」

麒麟界 編

麒麟界の噂

20年前、世間では都市伝説カードと呼ばれるカードがあった。

〔麒麟界〕

7種類のそのカードを集めた者は誰も見た事の無い伝説のゼーレカード

〔麒麟〕を手にする事が出来る

豪禍「と言う噂があったらしい」

幹也「へく、でもそんな噂今初めて聞いたぜ？」

東原「トウヤは聞いた事あるか？」

トウヤ「ううん…無いよ」

豪禍「そらそうだろ、20年前の噂だからな、小僧共が知らなくて当然だ。」

トウヤ「でもなんで今、そんな噂がまた？」

豪禍「実はな、ネットサーフィンしてたらな？こんな記事を見つけた訳よ…」

麒麟界 20年前の覚醒

アスカ「胡散臭そう…」

豪禍「俺もそうは思ったけどよ、7枚の麒麟界のカードの実在はすでに判明、確認されているそうなんだ。この記事が出回った事で、20年前まで麒麟界を捜索していた輩や、カードコレクター、デューエラーがまた捜索を初めている。勿論、ただの噂好きの奴らも麒麟界を探して出回っている…」

アスカ「でもその麒麟界ってカード、7枚手に入れたらどうなるの？」

豪禍「7枚のカードが幻のゼーレカード「麒麟」を生み出し、その人間が望む永遠を与えてくれるらしい…」

幹也「へー、なら俺達も探してみようぜ！」

東原「は？」

幹也「そんな凄えカードならよ、一目拝んでみたいだろ？無駄だと分かっても、探してみようぜ！」

豪禍「ふふふ、気に入ったぜ幹也！俺も協力してやるよ！」

トウヤ「幹也君、豪禍さんまで…、僕も探すよ！正直、僕も興味あるしね！」

アスカ「トウヤ君が探すなら、私も探す！」

東原「仕方ないな、俺も協力するぜ！」

トウヤ「よし！皆んなで麒麟界を探そう！」

次の日からトウヤ達は麒麟界のカードを探して集める事にした。翌日学校に行くと、ネットでの噂を聞いた他の生徒達も麒麟界のカードを探していると言う。

カードシヨップ 勇魂豪

ルナ「あ！お兄ちゃん達来るの遅くい！」

トウヤ「ルナちゃん!?!」

幹也「なんでここにいるんだ？」

ルナ「お兄ちゃん達、噂のカードを探しに行くんでしょ？」

東原「店長、話したのか？」

豪禍「うん、ああ…、一部だけな？」

ルナ「噂なら私の学校でも広まってるよ！皆、昨日も探してたみたいだし、私も興味あるし、だから店長さんと探しに行こうと思ったの」

豪禍「それで俺がうっかり、お前達と探す事を話したんだ。」

ルナ「ねえ、いいでしょう？ルナも探しについて行く！」

トウヤ「けど見つからないかもしれないよ？」

ルナ「それは分かってるよ、だから人手が必要でしょ？だから手伝うの！」

トウヤ「実際のところは？」

ルナ「凄く楽しそう！ねえ、いいでしょ？」

ルナは首傾げに上目遣いで目をウルウルさせてトウヤを見つめる……これは破壊力抜群だ……

トウヤ「うぐっ……、わ、分かったよ……、一緒に探そう」

ルナ「やった〜！」

こうしてルナを含めた6人で麒麟界捜索を行うことになった。

――

高いビルから人々を眺める人物達があった……

「最初の目的は達せられましたね」

「ああ、麒麟界のカードを求める者達は日本中に存在する」

「全く醜い者達ですわね、欲望にまみれたオーラを感じます。」

「これよりさらなる段階へ移るとしよう……」

――

麒麟界のカードを搜索して、4日が経った…、麒麟のカードを探す人達は減るところが増えている…

幹也「まさか、こんなに探してる奴がいるとはな…」

トウヤ「うん…、さすがにこちら辺一带は探し尽くされたと思うよ」

東原「諦めるか？さすがに…」

幹也「いいや、俺は探すぜ！」

「あれ？君達も麒麟界のカードを探してるのかい？」

東原「お前…」

トウヤ「金井君！金井君も麒麟界を探してるの？」

金井「当然！僕はデュエラーでカードコレクターだからね？けど、1人じゃ探すのはキツくてね…」

幹也「俺達をボコった2人はどうしたんだよ？」

金井「ああ、彼等はお役ごめんだよ、今は後悔してるけどね…」

トウヤ「なら金井君も一緒に探そう！」

金井「本当かい！ありがとう！持つべきは友達だなく！」

しばらくして……

トウヤのスマホ ヴヴヴヴ

トウヤ「はい…、豪禍さん？はい…はい、ええ!!？」

東原「ん？」

幹也「どうした？」

トウヤ「じゃあすぐに行くよ！はい！」

幹也「トウヤ？」

トウヤ「大変だよ…、2人とも！すぐに勇魂豪に戻ろう！」

麒麟カッパ 開催！

カードシヨツプ 勇魂豪

6人「ブレゼレの大会〜！」

豪禍「ああ、しかも大会の賞品が麒麟界のカード全種類らしい」

幹也「マジかよ…」

金井「すでに所有者がいたんなら見つからない訳だよ…」

アスカ「胡散臭そう…」

豪禍「実際に映像もある。」

豪禍がサイトに投稿されている映像を見せる

「全てのデュエラーの皆さん、御機嫌よう、私の名は マキウラ 全ての麒麟界のカードを保持する者だ、私がネットに流した麒麟界の情報には意味がある、私は今この時を持ってくブレイブゼーレ 麒麟カッパを開催する！麒麟界のカードを探す者、欲する者達よ！是非参加いただきたい、この大会を制した者に、麒麟界の全てをくれてやろう！麒麟を求めし欲者達よ！是非参加していただきたい！開催は、7/27日だ！」

映像はそこで終わった…

幹也「なんか、マジっばいな…」

東原「ああ…」

トウヤ「7/27…、明後日だね…」

アスカ「また急だね?」

豪禍「どうする、参加するか?」

幹也「当然、俺は出るぜ!」

金井「僕も出るよ、カードコレクターとしては欲しいカードばかりだからね」

ルナ「ルナも出る〜!」

トウヤ「うん、僕も出るよ!」

アスカ「決まりだね!」

こうして僕達は〈ブレイブゼーレ 麒麟カップ〉に参加する事にした…

そして2日後…、トウヤ達は他の参加者と共に船に乗り、麒麟カップの会場となる、幻

獣の都に着いた。

麒麟カップ 会場 幻獣の都

幹也「おお、結構広いな」

トウヤ「人もかなりいるね」

アスカ「この人達みんな、麒麟のカードを狙ってるの？」

金井「みたいだね…、少し呆れるよ…自分もだけど…」

ルナ「凄くいい、人いっぱい！」

豪禍「そろそろ開始の時間だな」

会場の照明が突然落ちる…、そして数人の人物が現れてスポットライトが当てられる

マキウラ「ようこそ、麒麟復活の場へ、生贄達よ…！」

突然発せられた言葉に周りがざわめく…

ザワザワザワ

トウヤ「麒麟復活の場…、生贄？ いったいどういう…」

マキウラ「ふふふ…、訳が分からないだろう？だが、大会の意図とルールは簡単だ、こ
こは幻獣の都、この都、この島そのものがフィールドだ、君達にはこのフィールドを縦
横無尽に駆け回り、我々7人から逃げてもらう、言わば鬼ごっこだ。勿論、立ち向かっ
て来ても構わない、我々の内1人にでも出会ってしまえば、強制デュエルだ、勝てれば
麒麟界はそのデュエラーの物、負ければその者の生命力を捧げてもらう！デスゲームだ
…」

トウヤ「生命力…？」

金井「生命力を取られたら…、どうなるんだ？？」

マキウラ「さあ？最悪、死ぬかもな…？」

金井「は？」

マキウラ「では2分後に始める。尚、この島からは出られないからね…」

幹也「言ってる意味はわからねーけど、戦わなきゃ、手に入んねーだろ！」

トウヤ「待って、あいつの言ってる事、嘘とは思えない…用心しよう」

マキウラ「時間だ、逃げ惑え！生贄達よ！」

モブ長「何が鬼ごっこだ、生贄だ！俺は挑むぜ！」

モブ沢「おい、一応逃げようぜ……？」

モブ長「ならお前だけ逃げろよ！」

マキウラ「ふっ、勇敢な事だ…、シユウガ！相手をしなさい…」

シユウガ「はい、ボス！お前達に見せてやる、麒麟界の力を！」

ゼーレ・リリース

しばらくして…

モブ長 LP 3

シユウガ LP 8

シユウガ「では、そろそろ決めるか…、コスト4で召喚！麒麟・影角！バトル！影角で攻撃！パワー3だ！」

モブ長「ぐわあああ！」 LP 0

シユウガ「奪い去れ、人の欲と恐怖、生命力と共に！」

モブ長「な、なんだ☒なんだこれ!!? うわあああ!」 ボオウ…

敗北したモブ長は緑の炎に焼かれて 影角のカードに吸収されてしまった…

モブ沢「モブ長! ああ…、あ、うわあああ!」

ウワア——!!

キヤア——!!!

モブ長の消滅により、皆、その場を逃げ出す!

マキウラ「ふっ、大会スタートだ! 私達も追うぞ…」

6人「は!」

モブ長の消滅により、麒麟カップ 開始!

シユウガ「何? 君は逃げないの?」

トウヤ「僕は戦う」

シユウガ「勇敢だね? けど負けたら君も燃えてしまうぞ、怖くないのか?」

トウヤ「怖いさ、でも…負けて人が消えるなんてあつてはならないよ！躊躇いなく人を消した君達を僕は倒す！」

シュウガ「やってみなよ！」

ゼーレ・リリース！

トウヤ vs 麒麟・影角

ついに始まったブレイブゼーレ麒麟カップ、だがその大会は麒麟界の力によって人を消滅させる為の大会だった。だが皆、マキウラの話に半信半疑だったが、マキウラの話信じないモブ長は全ての参加者の目の前で麒麟・影角に敗北し消滅した、それを目撃した全員が一斉に逃げ出し大会がスタートしたが、今のデュエルに納得せず、トウヤは怒りを露わにデュエルを挑む。

ゼーレ・リリース

トウヤ「僕の先攻、ドロロー！エナジーチャージ（エナジー）！＜戦獣 火リス＞を召喚、さらに＜戦獣 ソードライガー＞を召喚（エナジー表0↓裏1）！」

戦獣 火リス

ランク1 / ★ / 炎 属 / 獣 類

コスト0 / 攻2000 / パワー2

?? このゼーレの召喚時、君のデッキから1枚ドロウする。
 ?? 「チャージ」

戦獣 ソードライガー

リンク2／★

コスト2★／攻3500／パワー3

「チャージ」

トウヤ「火リスの効果で1ドロウ！バトル！ソードライガーで攻撃！ソードライガーは召喚したターンだけ、攻撃力とパワーがアップする！」

ソードライガー

攻3500↓4500

パワー3↓4

シユウガ「くう！」LP15↓11

トウヤ「ターンエンド」

シユウガ「俺のターン、ドロロー！ エナジーチャージ（表1）！ 続効トリガー〈影から覗く眼光〉」

影から覗く眼光

続効トリガー

??このカードは★を得る。

??1ターンに1度、君の手札1枚をエナジーに置き、デッキから1枚ドロローする。

シユウガ「〈影から覗く眼光〉の効果で手札1枚チャージ（表2）、1ドロロー！ 〈麒麟の下僕 サー〉を召喚！」

麒麟の下僕 サー

リンク2 / ★ / 闇 属 / 獣 類

コスト1 ★ / 攻3000 / パワー2

??1ターンに1回だけ、ライフ3払う、君のデッキから2枚ドロローして、デッキから1枚エナジーに置く

シウウガ「サーの効果でライフ3払う（LP 11↓8）、2ドロ、1チャージ（エナジー表3）！エナジー2払い（エナジー表3↓1裏0↓2）召喚！その黒き姿は俺の影か君の影か…、刮目せよ！＜麒麟・影角＞！」

麒麟・影角

ランク3★／闇 属／獣 類

コスト4★／攻4500／パワー3

??バトルタイム開始時、相手の手札1枚を裏向きで／ランク0／影 属／クローン／コスト0／攻1000／パワー2のゼーレとして＜影角＞のプレイヤーの場に出してよい。そのカード名は＜影角・クローン＞になる

??己に見限られたもの。己の影に取り込まれ世界より去れ。

??「直攻」

シウウガ「バトル！影角の効果、君の手札を1枚を裏向きで俺の場に召喚する、1番右のカードを召喚！」

影角・クローン

ランク0／影 属／クローン

コスト0 / 攻1000 / パワー2

シユウガ「影角で攻撃！直攻！」

トウヤ「うぐっ」LP15↓12

シユウガ「影角クローンでソードライガーに攻撃！」

影角クローン

攻1000

パワー2

vs

ソードライガー

攻3500↓2500

パワー3

シユウガ「麒麟の下僕サーでソードライガーに攻撃！」

麒麟の下僕サー

攻3000

パワー2

V S

ソードライガー

攻2500↓0 撃破!

パワー3

チャージ エナジー表1

シウウガ「ターンエンド」

トウヤ「僕のターン、ドロー、エナジーチャージ(表3 裏0)！エナジー2払い(エナジー表3↓1 裏0↓2)＜戦獣 クロー・ベアー＞」

戦獣 クロー・ベアー

ランク3／★／無 属／獣 類

コスト3 ★★／攻4000／パワー4

??このゼーレが召喚された時、裏向きのエナジー1枚を表向きにする。

??このゼーレが攻撃した時、相手のゼーレ1体にダメージ2000！

?? 「チャージ」

トウヤ「クローベアーの召喚時、エナジー1枚を表向きにする（エナジー表2 裏1）、
バトル！クローベアーで影角に攻撃！クローベアーの効果！影角にダメージ2000
！」

影角

攻4500↓2500

クローベアー

攻3400

パワー4

vs

影角

攻2500

パワー3

シユウガ「カウンタートリガー<影移し>」

影移し

カウンタートリガー

??君のゼーレが攻撃されている時、君の手札1枚を捨てて、その攻撃を無効にする。

シユウガ「手札を1枚捨て、攻撃を無効!」

トウヤ「火リスで影角クローンを攻撃!」

火リス

攻2000

パワー2

vs

影角クローン

攻1000↓0

パワー2

影角クローン 撃破!

トウヤ「ターンエンド」

シユウガ「俺のターン、ドロロー！ エナジーチャージ（表4）、俺はエナジー3払い（エナジー表1↓裏3）、＜影の支配＞を発動！」

影の支配

続効トリガー

??このカードはエナジー3を払って使う

??君のランク3以下のゼーレは全て「連撃1」を得る。

シユウガ「行くぞ！ バトル！ 影角の効果で、1番左のカードを影角クローンとして召喚する！」

影角クローン

ランク1／攻1000／パワー2

シユウガ「影の支配の効果でランク3以下のゼーレは連撃を得る。麒麟の下僕サーでクローベアーに攻撃！」

麒麟の下僕サー

攻3500

パワー2

vs

クローベアー

攻4000↓1000

パワー4

シユウガ「影角クローンでクローベアーに攻撃！」

影角クローン

攻1000

パワー2

vs

クローベアー

攻1000↓0

パワー4

戦獣 クローベアー 撃破！ チャージ（エナジー表3）

シユウガ「麒麟の下僕サーで連撃！火リスに攻撃！」
麒麟の下僕サー

攻3500

パワー3

vs

火リス

攻2000↓0

パワー2

戦獣 火リス 撃破！ チャージ（エナジー表4）

シユウガ「影角クローンも連撃、再攻撃！」

トウヤ「うぐっ」LP12↓10

シユウガ「影角で攻撃！パワー3！」

トウヤ「ぐああ」LP10↓7

シユウガ「影角の連撃！もう一度攻撃！」

トウヤ「うわあ！」LP7↓4

シユウガ「ターンエンドだ」

トウヤ「僕のターン…、ドロロー！エナジーチャージ（エナジー表6 裏0）！来た、
 戦獣 火リスを召喚！1ドロロー！」

戦獣火リス

ランク1 / ★ / コスト0 / 攻2000 / パワー2

チャージ

トウヤの眼に青い光が灯る…

トウヤ「エナジー4（表6 ↓ 2 裏4）と火リスをコストに覚醒召喚！<超・戦獣

ライジング・レオン>！」

超・戦獣 ライジング・レオン

ランク5 ★★ / コスト5 ★★ / 攻5500 / パワー6

「連撃1」

トウヤ「バトル！影角に4500ダメージ！麒麟の下僕 サーのパワーを3ダウン
 ！」

麒麟・影角

攻4500↓0

麒麟・影角 破壊!

麒麟の下僕 サー

パワー3↓0

シュウガ「何だと!?」

トウヤ「行くよ! 火リスで影角クローンに攻撃!」

火リス

攻2000

パワー2

vs

影角クローン

攻1000↓0

パワー2

影角クローン 撃破!

トウヤ「ライジンググレオンで麒麟の下僕　サーに攻撃！」

ライジンググレオン

攻5500

パワー6

vs

麒麟の下僕　サー

攻3000↓0

パワー0

麒麟の下僕サー　撃破！

610||6

シュウガ「ぐおっ！」LP8↓2

トウヤ「ライジンググレオンの連撃！行け！ライジンググレオンで攻撃！」

シュウガ「う、ぐああああ！」LP2↓0

敗北したシュウガの前に影角が現れる…

シユウガ「影角……いい、嫌だ……消えたくない……消えたくない！」

影角が影となってシユウガを捉え、影の中に引きずり込まれた。

マキウラ「敵も味方も関係ない、麒麟界は敗者を贄に復活を遂げる。これが大会のルールだ……」

トウヤ「く……ふざけるな……こんなの……デユエルじゃない、ブレイブゼーレじゃない……！」

マキウラ「敵を哀れむ暇があるのか？ 私もしきに動く、君の仲間達は どうして いるかな？ もしや麒麟達に……？」

トウヤ「……！ 皆！」

トウヤは仲間を探して走り出す！

アスカ VS シキ

麒麟カップが始まって 20分 参加した人の数は着実に減っている。

アスカ仲間とはぐれて、1人さまよっていた、すると占い師のような風貌の女性に呼び止められる。

女性「もし？そこのお嬢さん？」

アスカ「え？私ですか…？」

女性「はい、少しお占いでもいかが？」

アスカ「すみませんが、私は占いなんて信じないですから、自分の運勢とか、誰かにとやかく言われるのは嫌なんです…」

女性「ふふふ！あなたは何か勘違いをしておられますね、私の占いは…未来や過去を言い当てるような非現実的なものではありません…、私の占いはブレイブゼーレ、デュエルなのです。どうですか？この麒麟のカードをかけて、あなたを占って差し上げます。」

アスカ「分かりました。デュエルだけなら受けます。占い関係なしにですが…」

女性「構いません、私の名は紫式部、皆、シキと呼びます。あなたの名は？」
アスカ「美風 アスカです。」

シキ「では、デュエルを始めましょう。」

ゼーレ・リリス

アスカ「私のターン、ドロロー！エナジーチャージ（表1）！<天使エルー>を召喚！」

天使エルー

ランク1 / ★ / 光 属 / 天使 類

コスト0 / 攻2000 / パワー2

??このゼーレが攻撃した時、攻撃対象のゼーレのパワーを2ダウンさせる。

??「チャージ」

アスカ「さらに<天使 ウリー>を召喚！」

天使ウリー

ライフ2 / ★ / 光 属 / 天使 類

コスト1 ★ / 攻3000 / パワー3

??君の<天使>の名があるゼーレが攻撃したらそのカードのパワー+1!

??「直攻」「チャージ」

アスカ「バトルよ! 天使ウリで攻撃! パワー3!

シキ「う…」LP15 ↓ 12

アスカ「ターンエンド!」

シキ「では、私のターン、ドロ、エナジーチャージ(表1)! 続効トリガー<獣の像氷>」

獣の像氷

続効トリガー

??君のメインタイムに1度だけライフ1払う、君のデッキから1枚エナジーに置き、デッキから1枚ドロする。

??君が<水 属 / 獣 類>のゼーレを召喚する場合、このカードを破壊して良い、そ

うしたらそのカードのコストを1減らす。

シキ「獣の像氷の効果でライフ1払う（LP12→11）デツキから1チャージ（表2）、1ドロー！さらにコスト2で（表0→裏2）＜麒麟の下僕 エー＞を召喚、＜北極の氷獣＞を召喚！」

麒麟の下僕 エー

ランク2 / ★ / 無 属 / 獣 類

コスト2 ★★ / 攻3000 / パワー3

??このゼーレが召喚されたら、君のデツキから1枚エナジーに置く。

??このゼーレが攻撃した時、相手のゼーレ1体のパワーを2ダウン！

北極の氷獣

ランク2 / 水 属 / 獣 類

コスト0 / 攻3500 / パワー3

??「チャージ」「連撃1」

シキ「麒麟の下僕 エーの効果で1チャージ(表1裏2)、バトル!麒麟の下僕エーで天使エルーに攻撃!エルーのパワーを2ダウン!」

麒麟の下僕 エー

攻3000

パワー3

vs

天使エルー

攻2000↓0

パワー2↓0

天使エルー 撃破!チャージ(エナジー表2)

パワー3→0||3

アスカ「うぐつ」LP15↓12

シキ「北極の氷獣で天使ウリーに攻撃!」

北極の氷獣

攻 3500

パワー 3

vs

天使ウリー

攻 3000 ↓ 0

パワー 3

天使ウリー 撃破！チャージ（エナジー表3）

シキ 「北極の氷獣で再攻撃！」

アスカ 「きやあ」 LP12 ↓ 9

シキ 「ターンエンドです。」

裏4）アスカ「私のターン、ドロー！エナジーチャージ（表4）！エナジー4使い（表0 ↓
裏4）召喚！<大天使 レカテ>！」

大天使 レカテ

リンク 4 / ★★ / 光 属 / 天使

コスト4 ★★／攻5000／パワー4

??このゼーレが場にいる限り、相手のゼーレ全ての攻撃力は2000ダウンし、パワー1ダウンする。

??このゼーレが相手のゼーレとのバトルで与える相手へのダメージを+1する。

??「連撃1」

アスカ「レカテーターが場にいる限り、あなたのゼーレ全ての攻撃力は2000下がるわ！さらにパワーも1下がる」

麒麟の下僕エー

攻3000↓1000

パワー3↓2

北極の氷獣

攻3500↓1500

パワー3↓2

アスカ「バトル！レカテーターで北極の氷獣に攻撃！」

大天使レカテ

攻5000

パワー4

vs

北極の氷獣

攻1500↓0

パワー2

北極の氷獣 撃破！チャージ（エナジー表3）

パワー4→2⇒2

アスカ「このゼーレが相手のゼーレとのバトルで相手に与えるダメージを+1！3ダメージ！」

シキ「うぐっ」LP11↓8

アスカ「レカテの連撃！レカテで麒麟の下僕エーに攻撃！与えるダメージ+1！」

大天使レカテ

攻5000

パワー4

vs

麒麟の下僕 エー

攻1000

パワー2

麒麟の下僕エー 撃破！

シキ「ああ……！」LP8↓5

アスカ「ターンエンド！」

シキ「ふふふ！私のターンだ！」

麒麟・氷弧の試練

アスカ LP9

ゼーレ

大天使レカテ

シキ（紫式部） LP5

ゼーレ 無し

ー

アスカ「よし、順調に追い詰めてる！」

シキ「順調に…、ですか、確かに私は負けていますね。ふふふ！私のターンだ！ドロ！エナジーチャージ（表4）！獣の像氷の効果で＜水 属／獣 類＞のゼーレを召喚する時、獣の像氷を破壊してカードのコストを1減らす。」

アスカ「コストを減らす？」

シキ「コスト2（表2↓裏2）で召喚！美しき氷獣よ、醜い全てを凍てつかせ、美の世界へ…＜麒麟・氷弧＞！」

麒麟・氷弧

ランク2 / ★ / 水 属 / 獣 類

コスト3 / 攻100000 / パワー0

?? このゼーレが相手のゼーレを対象に攻撃したら相手にダメージ2!

?? 相手のゼーレは効果でリブートできない。

?? 私に見限られたら、氷像としてせめて美しくありなさい。

?? 「連撃1」

アスカ「レカテの効果で攻撃力2000、パワー2ダウン!」

麒麟・氷弧

攻100000 ↓ 8000

パワー0

シキ「バトル! 麒麟・氷弧で大天使レカテに攻撃! 氷弧の効果、相手のゼーレを対象に攻撃した時に相手に2ダメージを与える。」

アスカ「きやあ！」 LP9↓7

アスカ「カウンタートリガー！<光の盾>！」

光の盾

カウンタートリガー

??「相手のゼーレの攻撃中」

??相手のゼーレの攻撃を無効にする。

アスカ「氷弧の攻撃を無効に！」

シキ「ならば氷弧の連撃！再びレカテーに攻撃！ダメージ2を浴びよ！」

アスカ「きやつ」 LP7↓5

麒麟・氷弧

攻8000

パワー0

vs

大天使レカテー

攻5000↓0

パワー4

大天使レカテー 撃破！

シキ「ターンエンドよ」

アスカ「つ、強い…、（しかも体の奥から凍てつくような感覚…：負けたら私、消えちゃうんだっけ？嫌だな…、私まだ気持ち伝えてないよ…、トウヤ君…！）」

「アスカ！」

アスカ「トウヤ…君…」

トウヤ「しっかりして！アスカ！」

アスカ「トウヤ君（来てくれた…）」

トウヤ「デュエルを終了するんだ！アスカ、僕が代わりに戦うよ！だから…」

シキ「ならぬ！麒麟界のデュエルは始まったら、終わりまで止まる事はない！」

トウヤ「だから、代わりに僕が戦うんだ！」

アスカ「トウヤ君、ごめんね…私に、最後まで戦わせて？」

トウヤ「アスカ…？」

アスカ「私、トウヤ君の言う通り、諦めずに…絶対に勝つから…！」

トウヤ「アスカ、でも…」

アスカ「見ててね！トウヤ君！私のターン、ドロー！エナジーチャージ（表5 裏0）
！コスト5で召喚！光の翼持つ聖なる天使私の切り札！<大天使 ミライア>！」

大天使 ミライア

ランク4 / ★★ / コスト5 ★★

攻5000 / パワー5

連撃1

アスカ「バトル！ミライアの効果で氷弧の攻撃力2000ダウン！」

麒麟・氷弧

攻撃力10000 ↓ 8000

シキ「だから何だと？」

アスカ「行くわ！ミライアで攻撃！」

ミライア

攻5000

パワー5

vs

氷弧

攻 8000↓3000

パワー0

アスカ「連撃！ミライアで氷弧に再攻撃！」

シキ「できぬ！氷弧がいる限り、ゼーレはリブートできない！」

アスカ「そんな!?？じゃあ勝てない：!?？」

トウヤの眼が青い光が灯る：

トウヤ「アスカ！手札をよく見るんだ！君の可能性は、すでに手の中にある！」

アスカ「私の、可能性……?……このカードは!? トウヤ君から貰った……うん! まだ私のターンは終わらない!」

シキ「このターンで決められない以上、勝ちはありませんよ?」

アスカ「私は手札から、<大天使 セイン・レイン>の効果! 大天使ミライアをコストにしてライフ2払い(LP5↓3)、召喚!<大天使 セイン・レイン>」

大天使 セイン・レイン

ランク5 / ★★ / 光 属 / 天使 類

コスト4 ★ / 攻5500 / パワー5

??君の場のスタンしている<天使 類>のゼーレー1体を墓地に置き、君のライフ2払う事でこのゼーレーを無コストで召喚できる。この召喚は1ターンに1回しかできない。??このゼーレーが召喚ターンの間、相手のゼーレー1体の攻撃力を5000ダウンさせる。

アスカ「セイン・レインの効果で氷弧の攻撃力を5000ダウン!」

シキ「何!?」

麒麟・氷弧

攻3000↓0

アスカ「セインレインで氷弧に攻撃！」

大天使セイン・レイン

攻5500

パワー5

vs

麒麟・氷弧

攻0

パワー0

麒麟・氷弧 撃破！

パワー5 | 0 || 5

アスカ「これで終わり！」

シキ「きやあああ！」LP5↓0

シキ「あ、ああ…、負けた？私が…」

紫式部の身体が足元から凍っていく…

氷弧（愚かなるシキよ、せめて美しき氷像となりなさい…）

シキ「あ、ああ…いや、いやあ！さ、寒い…冷たい…寒い、冷たい…！」

そのまま紫式部は氷像となった…、麒麟・氷弧はアスカの手に渡る…

トウヤ「これが、氷弧を手にして負けた人の末路…」

アスカ「酷い…、トウヤ君、私…」

トウヤ「行こうアスカ…、皆が心配だ…」

アスカ「うん…」

幹也の怒り

幻獣の都

東原は麒麟界の1人とデュエルしていた。

東原 「くっ…」

麒麟界の1人 「行け！トドメだ！」

東原 「ぐわあああ！」

――

グワアアアア!!

幹也 「!?？」

幹也 「今の叫び声は…、くそっ」

――

幹也 「東原！」

東原「ああ…、幹也…悪い、負けちゃった…！」

幹也「しつかりしろよ！東原!!？」

東原の身体が青い炎が発火したようにオーラに包まれる…

幹也「東原!!？おい！東原！や、やめろ…、東原を消すんじやねえ！やめろ！」

東原「幹也…、このカードを…」

幹也「東原、こんな時にカードなんて…、縁起でもねえだろ！」

東原「勝てよ…」

東原はそのまま光になって麒麟のカードに吸収された…

幹也「東原——!!」

麒麟界の1人「ふん…」

幹也「くっ…うう…」

麒麟界の1人「あーあ、消えちゃった、守りも攻めも全然ダメだったなく！弱かったなく」

幹也「黙れ…」

麒麟界の1人「全く、あんな実力で僕に挑むなんて無謀だよね」

幹也「黙れ！つってんだよ!!」

「幹也くーん!」

「幹也!」

幹也「トウヤ、アスカ…」

トウヤ「東原君は?」

幹也「さっきまで、いた…」

アスカ「さっきまで?」

幹也「けど、デュエルに負けて、消えちまった…」

トウヤ「そんな…、くっ…、彼がやったの?」

幹也「ああ、あいつだ。」

トウヤ「許さない…、僕が…!」

幹也「待ってくれ!あいつは俺がやる、やらなきゃいけないんだ!」

アスカ「幹也…」

トウヤ「幹也君…分かったよ、気をつけて」

幹也「おう！」

麒麟界の1人「今度はあんたが相手？良いよ、僕はルムラ」

幹也「俺は幹也だ、ルムラ、お前はぜってえ倒す！」

ゼーレ・リリース！

幹也「俺から行くぞ！ドロロー、エナジーチャージ（表1）！<疾風のスズメイル>と<疾風のコガラメール>を召喚！」

疾風のスズメイル

ランク1／★／「風」／鳥類

コスト0／攻2500／パワー2

「チャージ」

疾風のコガラメール

ランク2／★／「風」／鳥類

コスト1★／攻3000／パワー2

?? 1ターンの1度、このゼーレをスタンする、自分の「風」のゼーレ1体のパワー+2!

?? 「チャージ」

幹也 「疾風のコガラメールの効果、コガラメールをスタンして、スズメールをパワー+2!」

疾風のスズメール

パワー2↓4

幹也 「バトル!スズメールで攻撃!さらにトリガー!<ウインド・ウイング>!」

ウインド・ウイング

カウントリガー

?? 「自分か相手のバトルタイム」

?? 君の「風」のゼーレ1体のパワー+2!このカードは1ターンの1度使える。

?? 「チャージ」

幹也 「このカードでスズメイルのパワーをさらに+2!」

疾風のスズメイル

パワー4↓6

ウインド・ウイング

チャージ（エナジー表2）

ルムラ 「うがあ!」 LP15↓9

――

アスカ 「いきなりダメージ6…!」

トウヤ 「風属の特性は、不意打ちでパワーアップして速攻でケリをつける、攻めに特化した属性、幹也君はそれを使いこなしてる!」

――

幹也 「ターンエンド!」

ルムラ 「へー、やるじゃん…、僕のターン、ドロー、エナジーチャージ（表1）、<偵

察犯>」

偵察犯

ノーマルトリガー

??相手のエナジーが自分のエナジーより多いなら、君のデッキから2枚エナジーに置く。

ルムラ「あんたのエナジーは2枚、僕のエナジーは1枚、よって僕のデッキから2枚エナジーに置く（エナジー表1↓3）、＜麒麟の下僕 ジー＞を召喚！」

麒麟の下僕 ジー

ランク1／★／「無」／獣 類

コスト0／攻1500／パワー2

??このゼーレが召喚された時、相手のゼーレの数だけこのカードに★（スター）を（最大3つになるまで）追加する。

??君がランク5以上のゼーレを召喚した時、このカードを破壊する。そうしたら、カードを2枚ドロウする。

ルムラ「麒麟の下僕 ジーの効果であんたの場のゼーレの数だけ★を追加する、これで麒麟の下僕ジールの★は3つ、コスト3払い（エナジー表3↓0裏3）召喚！夢と現、幻を生み出し幻惑せよ！＜麒麟・錯鼠＞」

麒麟・錯鼠

ランク0 / 「無」 / 獣 類

コスト6 ★★ / 攻2000 / パワー1

??相手のターンの攻撃中、君の手札を2枚捨ててよい。捨てたらその攻撃対象を相手の場のゼーレ1体に移す。その時、相手を受けるダメージは1減る。

??僕に見限られた君は幻覚に溺れる。現実にはサヨナラだ。

??「直攻」

ルムラ「麒麟の下僕ジーの効果で自身を破壊して、2ドロー！」

麒麟の下僕 ジー 破壊！

ルムラ「バトル、錯鼠で直攻！幹也に攻撃！」

幹也「うっ…」LP15↓14

ルムラ「ターンエンド」

幹也「たったダメージーかよ、俺のターン、ドロー！ エナジーチャージ（表3）、エナジー3払い（表3↓0 裏3）、＜疾風の虎 ソニックタイガー＞を召喚！」

疾風の虎 ソニックタイガー

ランク4 / ★★ / 「風」 / 獣 類

コスト5 ★★ / 攻4000 / パワー4

?? このゼーレが攻撃した時、このカードの攻撃力+1500 / パワー+2!

?? 「連撃1」

幹也「行くぜ！ バトルだ！」

錯鼠の脅威

幹也 LP14

疾風のスズメイル

疾風のコガラメイル

疾風の虎 ソニックタイガー

ルムラ LP9

麒麟・錯鼠

――

疾風の虎 ソニックタイガー

ランク4 / ★★ / 「風」 / 獣類

コスト5 ★★ / 攻4000 / パワー4

??このゼーレが攻撃した時、このカードの攻撃力+1500 / パワー+2!

??「連撃1」

幹也「コガラメールをレストして、ソニックタイガールのパワー+2！行くぜ！バトルだ！ソニックタイガーで攻撃！ソニックタイガーは攻撃した時、攻撃力+1500／パワー+2だ！」

ルムラ「ふっ、錯鼠の効果！手札2枚破棄して、攻撃の対象をあんたのゼーレに移すぜ！対象はスズメール！」

幹也「何だと!?？」

ソニックタイガー

攻4000↓5500

パワー4↓6↓8

V S

スズメール

攻2500↓0

パワー2

スズメール 撃破！ チャージ 表1

8↓2||6

ルムラ「だが、あんたが受けるダメージは1減るがな」

幹也「ぐあっ！」LP14↓9

ルムラ「どうだい？自分のゼーレ同士が潰し合うサマは？」

幹也「てめえ…、ターンエンドだ…」

ー

トウヤ「厄介だね、あの錯鼠ってゼーレは、風属の特性を覆せるのか…」

アスカ「確か、風属の特性はパワーを底上げて攻撃するんだよね…」

トウヤ「うん、だから攻撃の対象とダメージを味方に移す効果は、ある意味、風属の

天敵…」

アスカ「そんな…」

ー

ルムラ「僕のターン、ドロロー！エナジーチャージ（表3）！僕はく闇取り引き＜を使
う」

闇取り引き

ノーマルトリガー

??「自分のメインタイム」「1ターンに1枚だけ」

??君のライフ2払う、君のデッキから2枚ドロウする。

ルムラ「ライフ2払う（LP9↓7）、2ドロウ！バトル、錯鼠で直攻！幹也に攻撃！」

幹也「ぐうっ」LP9↓8

ルムラ「ターンエンドだ！」

幹也「俺のターン！ドロウ、エナジーチャージ（表4）！（どのカードを出しても、攻撃の対象を変えられたら損するのは俺だけだ…、ここは…）ターン…」

ルムラ「ちよつと待った！あんたのメインタイムにトリガー！＜幻惑の誘い＞」

幻惑の誘い

カウンタートリガー

??「相手のターン中」「1ターンに1枚」

??相手のゼーレはこのターンの間、可能なら必ず攻撃する。

ルムラ「あんたのゼーレは攻撃できるなら必ず攻撃しなきゃならない！さあ、逃げずに来いよ！」

幹也「ぐっ…、おおお！ちくしよ！ソニックタイガーで攻撃！」

ルムラ「麒麟・錯鼠の効果で手札を2枚捨て、攻撃対象を疾風のコガラメールにする！」

ソニックタイガー

攻4000↓5500

パワー4↓6

vs

疾風のコガラメール

攻3000

パワー2

疾風のコガラメール 撃破！ チャージ（エナジー表5）

6↓2||4

幹也「ぐああ！」LP8↓4

幹也「ターン、エンド…」

ルムラ「僕のターン、ドロー、エナジーチャージ（エナジー表4）！バトルだ！麒麟・錯綜で直攻！」

幹也「ぐっ！」LP4↓3

ルムラ「ターンエンド！」

幹也「俺のターン、ドロー！エナジーチャージ（表6）」

ー

トウヤ「幹也くんはこのターンはチャンスだよ！」

アスカ「え？」

トウヤ「錯綜の効果は攻撃を幹也君の別のゼーレに移す効果、だけど、幹也君にはソニックタイガー以外のゼーレは居ない」

アスカ「そっか、対象となるゼーレが居ないから、攻撃を通せる！」

トウヤ「うん！」

ー

幹也「そうか、だったらこのままバトルすれば……！」

ルムラ「なら、あんたにプレゼントをやるよ……、トリガー発動！<蘇生取り引き>！」

蘇生取り引き

カウンタートリガー

??「相手のターン中」「1ターンに1回」

??「相手は君の墓地からリンク3以下のゼーレ1体は無コストで召喚できる。その後、君はカードを1枚ドローする。」

ルムラ「さあ、好きなゼーレを復活させてよ…」

幹也「ぐ…、＜麒麟の下僕 ジー＞を召喚…」

ルムラ「じゃあ1枚ドロー！そして、トリガー！＜幻惑の誘い＞を発動！あんたは可能なら必ず攻撃する。」

――

トウヤ「チャンスを封じられた!?!?」

――

幹也「くつ…、ダメだ、勝てない…、俺は…:…:…?こんなカード、俺のデッキに…、そうか、そうだったな、あいつ消える間際に俺に託したカード…、俺は負けねえ！俺はソニックタイガーを破壊して召喚！＜ガンズロック・ゴレム＞！」

ガンズロック・ゴーレム

ランク5 / ★★ / 「土」 / 戦像 類

コスト5★ / 攻6000 / パワー4

??このカードは、君の場のゼーレ1体を破壊して、無コストで召喚できる。このゼーレは1体しか場に出せない。

??君のエナジのカード2枚を墓地へ送って発動する、このゼーレの攻撃力以下のゼーレ1体を破壊する。

??「連撃1」

幹也「行かぜ、東原！ガンズロックゴーレムの効果で、エナジ2枚をコストに（表5↓3）、麒麟・錯鼠を破壊だ！」

麒麟・錯鼠 壊滅！

ルムラ「そんな!?!」

幹也「バトル！ガンズロックゴーレムでルムラを攻撃！」

ルムラ「ぐああ！」LP7↓3

幹也「連撃！ガンズロックゴーレムでもう一度攻撃！」

ルムラ「そんな、僕が負ける!!?うあああ！」LP3↓0

錯鼠「ルムラ…、敗者である君にはこの世界の現から消えてもらうよ、永遠の夢に溺れるがいい…」

ルムラ「……………!!?」

ルムラは目を見開いたまま、膝を落とし放心状態になってしまった…
錯鼠は幹也の手に渡る

幹也「ありがとな、東原…、これからも、一緒に戦ってくれよ…」

トウヤ「幹也君、行こう！」

幹也「ああ！」

ルナ vs 清少納言

ルナは麒麟界のカードを持っているデュエラーを探して、片っ端からデュエルをしてきた。

「うわあ！この子、強い！」

ルナ「ルナの勝ちっ！じゃあデッキ見せて！」

「え？なんで…」

ルナ「勝ったのはルナだよ、見せて？」

「あ、はい」

ルナ「うん…、やっぱり持ってないよね…、麒麟界のカード…、じゃあねっ」

——

「……………」

——

しばらくして…

ルナ「うん、この人でもない…」

「そこのお嬢ちゃん、ずいぶんデュエルが強いね、どう？私とデュエルしない？」
ルナ「え？」

「勿論、ただじゃないわよ？あなたが勝ったら、この麒麟界のカードをあげる」ピラツ
ルナ「麒麟のカード…、うん！分かった、デュエルする！」

「決まりね、私は清少納言よ」

ルナ「ルナは姫城ルナ！早速始めよう！」

清少「ええ…」

ゼーレ・リリース

ルナ「ルナのターン、ドロ、エナジーチャージ（エナジー表1）！＜用心棒 剛腕
のナツク＞を召喚！」

用心棒 剛腕のナツク

コスト0 / 「無」 / 戦騎士 類 / ★

攻3000 / パワー3

??このゼーレが召喚された時、デッキから1枚ドロする。

?? 「チャージ」

ルナ「召喚時に1枚ドロロー！さらに＜用心棒 銃撃のガンマ＞を召喚！」

用心棒 銃撃のガンマ

コスト1★／「無」／戦騎士 類／★

攻3000／パワー2／チャージ

ルナ「ガンマの召喚時、エナジーに1チャージ（表2）！コスト2払い召喚（裏2表0）！＜用心棒 弓撃ちのキュウダ＞」

用心棒 弓撃ちのキュウダ

コスト4★／「無」／戦騎士 類／★

攻4500／パワー4

??このゼーレが攻撃した時、相手のゼーレ1体に2000のダメージ！

??このゼーレが破壊されたら、相手のゼーレ1体のパワー2ダウン！

ルナ「バトル！弓撃ちのキュウダで攻撃！」

清少「ぐっ」LP15↓1

ルナ「先攻は1回しか攻撃できない、ターンエンド！」

清少「私のターン、ドロ、エナジーチャージ（表1）！トリガー、＜エナジープラス＞、エナジー+2（表1↓3）！私はコスト3払い（表0↓裏3）、＜麒麟の下僕 ガー＞を召喚！」

麒麟の下僕 ガー

コスト3★／「風」／獣 類／★

攻4000／パワー3

??君のライフを2払う、君のデッキから2枚を裏向きで場に出す。そのカードは、コスト0／「無」／獣 類／★／攻2000／パワー2／の＜ガークローン＞となる。この効果は1ターンに1回だけ発動する。

??君の場のクローンは全て「チャージ」を得る。

??「チャージ」

清少「麒麟の下僕ガーの効果、ライフ2払う（LP11↓9）、デツキから2枚裏向きでガークローンとして召喚する。」

ガークローン

コスト0 / 「無」 / 獣 類 / ★

攻2000 / パワー2

「チャージ」

清少「バトル！麒麟の下僕ガーでキュウダを攻撃！」

麒麟の下僕ガー

攻4000

パワー3

vs

用心棒 弓撃ちのキュウダ

攻4500 ↓ 500

パワー4

清少「ガークローンでキュウダを攻撃！」

ガークローン

攻2000

パワー2

vs

キュウダ

攻500↓0

パワー4

用心棒 弓撃ちのキュウダ 撃破！

ルナ「くっ」

清少「ガークローンで剛腕のナツクに攻撃！」

ガークローン

攻2000

パワー2

vs

剛腕のナツク

攻3000↓1000

パワー3

ルナ「結局倒せないのに攻撃して意味あるの〜！」

清少「意味のないバトルはしないわ、私は手札の麒麟・風馳を開示するわ、そしてガー
クローン1体を破壊して無コスト召喚！<麒麟・風馳>！」

麒麟・風馳

コスト3★／「風」／獣類／★

攻3000／パワー2

??君のバトルタイム中、手札のこのカードを相手に見せ、君の場のゼーレを1枚破壊
する。そうした場合、このゼーレをコストを支払わずに召喚する。

??このゼーレの召喚時、相手の手札1枚を墓地に置く。

??このゼーレのバトル後、このゼーレを手札に戻して、相手にダメージ2！

??アタイに見限られたらね、少しずつ風で細切れさ。

ガー クローン 破壊 チャージ（エナジー表1 裏3）

ルナ「バトル中に召喚!?!?」

清少「さらにルナちゃんの手札を1枚墓地へ送る。」

ルナ「手札が!?!?」

清少「風馳で剛腕のナツクに攻撃!」

麒麟・風馳

攻3000

パワー2

vs

用心棒 剛腕のナツク

攻1000↓0

パワー3

用心棒 剛腕のナツク 撃破! チャージ（表1 裏2）

清少「風馳はバトル後に手札に戻り、ルナちゃんにダメージ2！」

麒麟・風馳 バウンス

ルナ「うわ！」LP15↓13

清少「ターンエンド！」

ルナ「ルナのターン！（エナジー表3 裏0）！ドロー、エナジーチャージ（表4）！
エナジー3払い召喚（表1↓裏3）！＜用心棒 刃のマサムネ＞」

用心棒 刃のマサムネ

コスト4★／「無」／戦騎士 類／★★

攻4000／パワー2

??このゼーレが相手のゼーレとバトルする時、攻撃力+2000！
??このゼーレ以外の自分の全てのゼーレの攻撃力1000ダウンする。

ルナ「バトル！刃のマサムネで麒麟の下僕ガーに攻撃！」

清少「トリガー発動！＜幻惑の誘い＞、攻撃対象をガー クローンに移す」

ガー クローン 撃破！

ルナ 「くっ、ターンエンド！」

清少 「私のターン！」

速攻の風馳

ルナ LP13

用心棒 刃のマサムネ

用心棒 銃撃のガンマ

清少納言 LP9

麒麟の下僕 ガー

ー

清少「私のターン（エナジー表4 裏0）、ドロ！エナジーチャージ（表5）！麒麟の下僕ガーの効果（LP9↓7）、デッキから2枚をガー クローンとして召喚する！」

ガー クローン

攻2000

パワー2

清少「バトル！ガークローンで刃のマサムネに攻撃！」

ガークローン

攻2000

パワー2

vs

刃のマサムネ

攻4000↓2000

パワー2

！風馳を召喚！」
清少「バトル後、手札の麒麟・風馳を開示して、スタンしているガークローンを破壊

ガークローン 破壊 チャージ（表6）

麒麟・風馳

攻3000／パワー2

清少「風馳で刃のマサムネを攻撃！」

風馳

攻3000

パワー2

vs

刃のマサムネ

攻2000↓0

パワー2

用心棒 刃のマサムネ 撃破！

清少「バトル後、風馳を手札に戻し、相手にダメージ2！」

ルナ「うぐっ」LP13↓11

清少「2体目のガークローンで銃撃のガンマを攻撃！」

ガークローン

攻2000

パワー2

V S

銃撃のガンマ

攻30000↓10000

パワー2

清少「そして手札の風馳を開示して、ガークローンを破壊！麒麟・風馳を召喚！風馳で攻撃！」

ガークローン 破壊！チャージ（表7）

用心棒 銃撃のガンマ 撃破！チャージ（表2）

清少「風馳を手札に戻して、ダメージ2！」

ルナ「うう…」LP 11↓9

清少「麒麟の下僕ガーで攻撃！パワー3！」

ルナ「うわー！」LP9↓6

ルナ「私がダメージを受けて、ライフが6以下になったら手札から召喚！＜用心棒

防護服のブレーン〈

用心棒 防護服のブレーン

コスト3 ★／「無」／戦騎士 類／★★

攻3500／パワー3

??君が相手のゼーレの攻撃を受けてライフが6以下になった時、このゼーレを手札から召喚できる。

2!
??相手のターン中に召喚された時、このゼーレの攻撃力を+2000して、パワー+

ルナ「防護服のブレーンは相手のターンに召喚されたら、攻撃力とパワーがアップする！」

防護服のブレーン

攻3500↓5500

パワー3↓5

清少「ふん、ターンエンドよ」

ルナ「ルナのターン！ドロー、エナジーチャージ（表5 裏0）！コスト3払い（表2 裏3）召喚！＜用心棒 巨悪のロマンス＞！」

用心棒 復讐のペンジェンス

コスト5 ★★／「無」／戦騎士 類／★★

攻12000／パワー5

??このゼーレは、場に1枚までしか存在出来ず、場に＜用心棒 巨悪のロマンス＞が存在する場合、そのターンのエンドフェイズ時に破壊される。

??君のライフがこのゼーレのパワーより低い時、その数値の差だけこのゼーレのパワーをアップする。

??「通撃」「連撃1」

ルナ「ライフ2払って（LP6↓4）、＜用心棒の心得 狙う者へのプレッシャー＞」

用心棒の心得 狙う者へのプレッシャー”

ノーマルトリガー

??君のライフを2払って発動する。

??君の場の<用心棒>ゼーレー一枚につき、相手のゼーレー全ての攻撃力1000減らして、さらにパワー1減らす。

ルナ「トリガーの効果で私の場のゼーレーの数、相手のゼーレーの攻撃力とパワーを減らすよ！私の場に用心棒は2体！」

麒麟の下僕 ガー

攻3000↓1000

パワー3↓1

ルナ「さらに、用心棒 復讐のペンジェンスの効果で私のライフがペンジェンスのパワー以下なら、その数値の差をパワーに加える！ペンジェンスのパワーは5、ルナのライフは4、よってパワー+1！」

復讐のペンジェンス

パワー5↓6

ルナ「バトル！復讐のペンジェンスで麒麟の下僕ガーに攻撃！」

復讐のペンジェンス

攻15000

パワー6

vs

麒麟の下僕 ガー

攻10000↓0

パワー1

麒麟の下僕ガー 撃破！

パワー6→1⇒5

清少「うああ！」LP9↓4

ルナ「ペンジェンスの連撃！復讐のペンジェンスで再攻撃！これでトドメ！」

清少「うわあああ！」LP4↓0

風馳「あくあ、負けちやつたか…、仕方ない、アタイの風の中で永遠に切り刻まれなさい…」

清少「ああ…いやああああ!!」

清少納言は風馳の渦巻き風に巻き込まれる

風馳はルナの手を渡る

ルナ「……、ごめんなさい」

金井 テル 覚悟のデュエル

金井 テルは建物の中で怯えていた……、なぜなら、彼はたまたま居合わせたデュエルの現場で人が消されるのを目撃してしまったからだ……次の標的にされないように逃げたのだが、時すでに遅し、標的に定められてしまったからだ……

「おーい、出てこいよ！俺とデュエルしようぜ〜！」

金井（冗談じゃない……、負けたら消えるデュエルなんて、受けるわけないだろ……！）
「分かった、名乗るから出てこいよ、俺はミトニだ。さあ、名前を知ったら知り合いだろう？出てこいって……」

金井（バカか！名乗ったからって危険なデュエルを受けるわけないっての！）

ミトニ「出てこいよ！どうせ強制デュエルが発動するんだ！どこに隠れても無駄だつて！」

金井「……」

ミトニ「……分かったよ、確かお前、仲間いたよな？お前の代わりにそいつら潰して来るよ」

金井「!?？」

ミトニ「お前は影に隠れて見ている、腰抜け！」

金井（腰抜けか…、そうだよ、僕は腰抜けだ。いつも誰かの影に隠れて見ているだけで、自分が安全ならそれでいいって人間さ…、今回も同じなんだ…、くそっ！）

ミトニが建物の中から出て行く……

金井「……」

――

しばらくして、トウヤ達の前にミトニが現れる

ミトニ「よお、お前らか？俺達の仲間を倒して麒麟のカードを持つてる奴らは

幹也「あん？なんだお前！」

ミトニ「聞いてんのは俺の方だぜ」

トウヤ「そうだよ！あなたも麒麟使いだね？」

ミトニ「ああ、俺はミトニだ！さあ早速、デュエルしようぜ？」

「待てー！」

ミトニ「ふっ…」

トウヤ／アスカ／幹也「金井（君）！」

金井（僕だけ隠れて、皆んなを見捨てるなんて、できる訳ないじゃないか！）「あんたは僕が相手だ!!」

ミトニ「ふふふ、待ってたぜ、その言葉をよ！」

金井「あんたは僕が倒す！」

ゼーレ・リリース

金井「僕の中ターン！ドロ、エナジーチャージ（表1）！僕はくアクアード・リプスを召喚！」

アクアード・リプス

コスト0／「水」／戦騎士 類／★

攻2500／パワー2

??君のこのゼーレを破壊して、カードを1枚ドロする。この効果は1ターンに1度

発動する。

?? 「チャージ」

金井「アクアードリップスの効果でリップス自身を破壊！1枚ドロロー！リップスはチャージでエナジーに置かれる」

アクアード・リップス 破壊！ チャージ（表2）

金井「そしてコスト2で（表0 裏2）召喚！<アクアード・アリフス>」

アクアード・アリフス

コスト2 / 「水」 / 戦騎士 類 / ★

攻4000 / パワー1

??このゼーレのパワーは君のエナジーが相手のエナジーより多い時、その枚数の差分パワーをアツプする。

?? 「チャージ」

金井「アクアード・アリフスのパワーは僕の方がエナジーが多い枚数。パワーアップする！僕のエナジーは2」

ミトニ「俺のエナジーは0」

金井「これでアリフスのパワーは+2！バトル！アクアードアリフスで攻撃！パワー3！」

ミトニ「うぐつ」LP15↓12

金井「ターンエンド！」

ミトニ「俺のターン！ドロ、エナジーチャージ（表1）！<エナジープラス>でデッキから2枚エナジーチャージ（表3）！エナジー2で召喚！<麒麟の下僕 ドー>」

麒麟の下僕 ドー

コスト2★／「無」／獣 類／★

攻5000／パワー3

??このゼーレを召喚した時、君の手札からコスト2以下の「獣 類」のゼーレ1枚を無コストで召喚できる。

??このゼーレが破壊される場合、君の場のゼーレ1体を破壊して、このゼーレを場に

残せる。

?? 「チャージ」

ミトニ 「麒麟の下僕ドーの効果で手札からコスト2以下の獣を召喚できる！俺が召喚するのは…」

——

トウヤ 「まさか!?!」

——

ミトニ 「出でよ、猪突猛進の怒りの獣！＜麒麟・怒猪＞」

麒麟・怒猪

コスト2 / 「土」 / 獣 類 / ★★

攻5000 / パワー2

?? このゼーレが破壊された時、場のゼーレ全てにダメージ5000!

?? 某が見限った者はこの世の全ての痛みをその身に負い逝く。

ミトニ 「さあ、怒り暴れろ！怒猪！」

怒れる獣

麒麟・怒猪

金井 LP15

アクアード・アリフス

ー

ミトニ LP12

麒麟・怒猪

麒麟の下僕 ドー

ー

ミトニ「バトル！暴れる怒猪！攻撃！」

麒麟・怒猪

攻5000

パワー2

vs

アクアード・アリフス

攻4000↓0

パワー1

アクアードアリフス 撃破！チャージ（表1 裏2）

ミトニ「麒麟の下僕ドーで攻撃！パワー2だ！」

金井「うっ…」LP15↓13

ミトニ「そしてトリガー！＜獣牙再生＞」

獣牙再生

カウンタートリガー

??「君のターン中」

??君のライフ2払って、君の墓地のコスト2以下の「獣類」のゼーレー1体を無コストで召喚する。

ミトニ「このカード効果でライフ2払う（LP12↓10）、墓地から麒麟・怒猪を復活！再攻撃だ！」

金井「うわぁ！」LP13↓11

ミトニ「ターンエンド」

金井「僕のターン、ドロー、エナジーチャージ（表4 裏0）！<アクアード・リップ>を再召喚！エナジー4払い（表0↓裏4）<水王竜 リヴァイアサン>召喚！」

水王竜 リヴァイアサン

コスト5 ★★ / 「水」 / 怪獣 類

攻7000 / パワー5

??「水王波」このゼーレが召喚された時、相手のコスト4以下のゼーレ1体を破壊でききる。

??墓地のこのゼーレはこのカードのコストを払う事で、墓地のこのゼーレを召喚できる。

??「連撃：1」

金井「水王竜リヴァイアサンの効果で麒麟・怒猪を破壊する！」

麒麟・怒猪 破壊！

ミトニ「破壊したな？怒猪の効果発動！こいつが破壊された時、相手のゼーレ全てに5000ダメージ！」

金井「何!?!？」

アクアードリプス 破壊！チャージ（表1 裏4）

攻2500↓0

水王竜リヴァイアサン

攻7000↓2000

金井「くっ…リヴァイアサンだけじゃ戦えない、ターンエンド！」

リヴァイアサン

攻2000↓5000

ミトニ「俺のターン！ドロー！エナジーチャージ（表4 裏0）！トリガー発動、< 生存本能>」

生存本能

ノーマルトリガー

?? 「1ターンに1回」

?? 君の墓地から「獣 類」のゼーレー体を君の手札に加える。

ミトニ 「俺は墓地から麒麟・怒猪を手札に加える。そして召喚（エナジー表2 裏2）
！<麒麟・怒猪>！」

麒麟・怒猪

攻5000

パワー2

ミトニ 「行けぞ、バトル！麒麟の下僕ドードリヴァイアサンに攻撃！」

麒麟の下僕ドード

攻5000

パワー3

V
S

リヴァイアサン

攻70000↓2000

パワー5

ミトニ「怒猪でリヴァイアサンに攻撃！」

麒麟・怒猪

攻5000

V
S

リヴァイアサン

攻20000↓0

水王竜リヴァイアサン 撃破！

ミトニ「まだだ！トリガー発動！<怒りの闘争>」

怒りの闘争

カウンタートリガー

?? 「君のバトルタイム中」

?? 君の場のコスト2以下の「獣 類」のゼーレ2体までをリブートする。

ミトニ 「この効果で怒猪とドーをリブート、麒麟の下僕ドーで攻撃！」

金井 「うぐつ」LP 11↓8

ミトニ 「怒猪も攻撃！」

金井 「くうう」LP 8↓6

ミトニ 「ターンエンド！」

2 金井「僕のターン、ドロロー！エナジーチャージ（表5 裏0）！エナジー3で召喚（表裏3）！<アクアード・ソルジャー・ナミ>

アクアード・ソルジャー・ナミ

コスト3 ★ / 「水」 / 戦騎士 類 / ★★

攻4500 / パワー4

?? このゼーレの召喚時、君のデッキから2枚をエナジーにおいて、君はダメージ2を

受ける。

??君のエナジーが5以上の時、君の「水」のゼーレ全ての攻撃力+3000、パワー3アップする。

金井「アクアー・ドソルジャー・ナミの召喚時、ゲージ+2（表3 裏3）、そしてダメージ2を受ける（LP6↓4）、そしてエナジー3払い（表0 裏6）、墓地から復活！<水王竜リヴァイアサン>！」

水王竜リヴァイアサン

コスト5★／水／怪獣 類

攻7000／パワー5

金井「リヴァイアサンの召喚時に麒麟・怒猪を破壊！」

麒麟・怒猪 破壊！

ミトニ「バカが！まだ地雷踏みやがった！怒猪の効果でお前のモンスター全てに50

00ダメージ!」

金井「アクアードソルジャーナミの効果で僕のゼーレ全ての攻撃力は+3000、パワーも+3されている!」

水王竜リヴァイアサン

攻7000↓10000↓5000

パワー5↓8

アクアードソルジャーナミ

攻4500↓7500↓2500

パワー4↓7

ミトニ「何!?」

金井「行くぞ、バトル!水王竜リヴァイアサンで麒麟の下僕ドーに攻撃!」

水王竜リヴァイアサン

攻5000

パワー8

V S

麒麟の下僕ドー

攻5000↓0

パワー3

麒麟の下僕ドー 撃破！

パワー8ー3＝5

ミトニ「ぐああ！」LP12↓7

金井「これで、トドメだ！リヴァイアサンでダイレクトアタック！パワー8！」

ミトニ「うおおお！」LP7↓0

怒猪「終わったな、もはやお前に使われる意味は無い…、絶え間無き怒りと痛みを身に投じるがいい…」

ミトニ「うがあああ！」

ミトニは激しい痛みで苦しみを失神してしまった…、そして怒猪は金井の手に渡る…

豪禍 vs スミヤ

天龍 豪禍は一人で麒麟使いを探していた：

豪禍「皆さんとはぐれたか…、まあ、トウヤとルナちゃんは大丈夫だろうが…、危険な大会に参加させちまったな…」

「……」

豪禍「そつちから出向いてくれるとはな、探す手間がはぶけたぜ…、スミヤ！」

スミヤ「まさか、あなたもこの大会に参加して来るとは、やはり麒麟界の力を欲しているのではないのか？」

豪禍「バカ言え！俺は麒麟界を潰しに参加しただけだ…、麒麟の力は俺の求める力じゃねえ…」

スミヤ「ふふふ、そうですか…、でも私にとってはあなたが参加してくれたのは嬉しい誤算だ。裏切り者のあなたを今度こそ麒麟の餌にすることができからな」

豪禍「ならねーよ、バーカ…、言つたろ？麒麟界を潰しに来たってな…」

スミヤ「ならば、デュエルです。」

豪禍「おうよ！」

ゼーレ・リリース

豪禍「俺のターン！ドロー！エナジーチャージ（エナジー表1）、俺はエナジー1払い
（表0 裏1）＜天漢 あまつおとし アミーゴウ＞を召喚！」

天漢 あまつおとし アミーゴウ

コスト1 / 「光」 / 天使 類 / 漢 類 / ★★

攻3000 / パワー2

??このゼーレが相手に攻撃した時、このゼーレのパワー+2！

??このゼーレが相手のゼーレに攻撃した時、このゼーレの攻撃力+2000！

豪禍「さらに、＜天漢 あまつおとし パレードウ＞召喚！」

天漢 あまつおとし パレードウ

コスト1 ★ / 「光」 / 天使 類 / 漢 類 / ★

攻3000 / パワー3

??このゼーレが攻撃した時、このカードの攻撃力+2000!パワー+2する。
??「チャージ」

豪禍「行くぞ、バトル!天漢パレードウでスミヤに攻撃!攻撃した時、パワー5だ!」
スミヤ「くっ!」LP15↓10

豪禍「ターンエンド」

スミヤ「まだ、そんなむさ苦しいデッキを使っていたのか…」

豪禍「これでも気に入ってんだよ」

スミヤ「ふん、私のターン、ドロロー!エナジーチャージ(表1)!トリガー、<エナ
ジープラス>デッキから2枚エナジーチャージ(表3)!エナジー3(表0裏3)で
召喚!<麒麟の下僕 ボー>」

麒麟の下僕 ボー

コスト4 ★★ / 「炎」 / 獣 類 / ★★

攻5500 / パワー6

??君のライフが10以下なら手札のこのカードのコストを ー1

??相手のターン開始時に発動できる。このカード以外の君の全てのゼーレにこのカードの攻撃力を加える。

??君のゼーレがバトルする時、このゼーレの攻撃力を1000下げて、そのゼーレを場に残せる。

スミヤ「バトルです。麒麟の下僕ボーでパレードウを攻撃！」

麒麟の下僕 ボー

攻5500

パワー6

v s

天漢 パレードウ

攻3000↓0

パワー3

天漢。パレードウ 撃破！

パワー6 | 3 || 3

豪禍 「ぐうっ」LP15↓12

スミヤ 「ターンエンド」

豪禍 「俺のターン、ドロロー！エナジーチャージ（表2 裏0）！エナジー1（表1 裏1）でく天漢 ウデツプシ＞召喚！」

天漢 ウデツプシ

コスト3 ★★ / 「光」 / 天使 類 / 漢 類 / ★★

攻5000 / パワー4

??この効果はダメージ2を受けて発動できる。君のデッキから1枚選び君の手札に加える。その後デッキをシャッフルする。

??このゼーレが破壊された時、君のゼーレ1体のパワー+2！

豪禍 「さらにトリガー、く漢の気合い」

漢の気合い

ノーマルトリガー

?? 君の場のく漢 類>の数、君のデッキからエナジーに置く。

豪禍「俺の場の漢は2体、よつて2枚をエナジーに置く（表3 裏1）、ウデツプシの効果でダメージ2受ける（LP12↓10）、デッキから1枚手札に加える、俺が手札に加えるのは、この1枚だ…、バトル！アミーゴウで麒麟の下僕ポーを攻撃！アミーゴウは攻撃力を+2000する！」

スミヤ「トリガー発動、くパスワード・フレイム>」

パスワード・フレイム

カウンタートリガー

?? 「相手にバトルタイム」

?? 君の「炎」のゼーレ1枚の攻撃力+4000！

スミヤ「ポーの攻撃力を+4000する。」

天漢アミーゴウ

攻3000↓5000

パワー2

vs

麒麟の下僕ボー

攻5500↓9500↓4500

パワー6

豪禍「ウデツプシで攻撃！」

スミヤ「麒麟の下僕ボーの効果、自身の攻撃力10000下げて、自身は場に残る。」

天漢 ウデツプシ

攻5000

パワー4

vs

麒麟の下僕ボー

4500↓3500↓0

パワー6

豪禍「くつ、ターンエンドだ…」

スミヤ「では、私のターン…、ドロ、エナジーチャージ（表4 裏0）！そろそろ登場願おうか、炎を纏いし幻獣を呼ぶ、エナジー3で召喚！＜麒麟・炎狗＞」

麒麟・炎狗

コスト3★／「炎」／獣類／★

攻2000／パワー5

??君のターン中、このゼーレ攻撃力は+13000される。

??俺に見限られた奴は消えない炎に身を投げろ。

??「直攻」

炎狗の業火

豪禍 LP10

天漢 アミーゴウ

攻3000 / パワー2

天漢 ウデツプシ

攻5000 / 4

スミヤ LP10

麒麟の下僕 ボー

攻5500 / パワー6

麒麟・炎狗

攻2000 / パワー5

麒麟・炎狗

コスト3 ★ / 「炎」 / 獣類 / ★

攻2000／パワー5

??君のターン中、このゼーレ攻撃力は+13000される。

??俺に限られた奴は消えない炎に身を投げろ。

??「直攻」

豪禍「来やがったか、麒麟のカード！」

スミヤ「麒麟・炎狗は私のターン中、攻撃力が+13000される。」

麒麟・炎狗

攻2000↓15000

豪禍「攻撃力：15000！」

スミヤ「バトル！麒麟・炎狗で攻撃！直攻！」

豪禍「ぐおお！」LP10↓5

スミヤ「麒麟の下僕ボーでアミーゴウに攻撃！」

麒麟の下僕ボー

攻5500

パワー6

v s

天漢アミーゴウ

攻3000

パワー2

天漢アミーゴウ 撃破！

パワー6 ↓ 2 || 4

豪禍「ぐああ！」5 ↓ 1

スミヤ「ライフを1残しましたか…、ターンエンド」

豪禍「ぐ…、俺のターン！エナジーチャージ（表5 裏0）！」

スミヤ「麒麟の下僕ボーの効果で麒麟・炎狗の攻撃力を+5500！」

麒麟・炎狗

攻7500

豪禍「覚えているか？ウデツプシの効果でデッキから手札に加えたカードを！」
スミヤ「？」

豪禍「今からこのカードを解き放つ！俺のライフが6以下なら、このカードはコスト6のカードになる！エナジー5払い（表0 裏5）、＜天漢 アルバート・マッスラー＞を召喚！」

天漢 アルバート・マッスラー

コスト10★★★／「光」／天使 類／漢 類／★★★

攻12000／パワー10

??君のライフが6以下の時、このカードのコストは6になる。

??このゼーレが攻撃した時、相手のゼーレ全てにダメージ5000！さらに、パワー2下げる。

??このゼーレがバトルで相手のゼーレを破壊した時、1ターンに1回だけ、このゼーレをリブートする。

豪禍「行くぞ！アルバートマッスラーで麒麟の下僕ポーに攻撃！コイツが攻撃した

時、相手のゼーレ全てに5000ダメージ！さらにパワー2下げる！」

麒麟・炎狗

攻7500↓2500

パワー5↓3

麒麟の下僕ボ

攻5500↓500

パワー6↓4

スミヤ「!?？」

豪禍「パワーが1000以下じゃ、場に残す効果は使えないな？」

アルバートマツスラ

攻12000

パワー10

vs

麒麟の下僕ボ

攻 500 ↓ 0

パワー 4

麒麟の下僕ボー 撃破！

パワー 10 ↓ 4 || 6

スミヤ「くっ…」LP 10 ↓ 4

豪禍「アルバートマツスラーは相手のゼーレを破壊した時、リブートする！アルバートマツスラーで炎狗に攻撃！」

アルバートマツスラー

攻 12000

パワー 10

vs

麒麟・炎狗

攻 2500 ↓ 0

パワー 5

麒麟・炎狗 撃破！

パワー10ー5||5

スミヤ「ぐああああ!!」LP4↓0

炎狗「我を従えながら敗北した者よ、愚かなり…、屈辱の炎に身を焼くがいい…」

スミヤは赤い炎に包まれる…、そして炎狗は豪禍の手に渡る…

――

トウヤ「豪禍さん!」

豪禍「よお、トウヤ! お前たちも、無事だったか!」

幹也「俺達はな、けど…東原は、やられちゃった…!」

豪禍「そうか…、悪かったな…、こんな危険な大会に巻き込んで…」

アスカ「そんな、大会に参加したのは私達の意味ですよ…」

金井「そんなに、悲観しないでください、それに僕達だって戦って勝って来たんですから。」

ルナ「おーい! トウヤお兄ちゃん! ミツキー!」

トウヤ「ルナちゃん！」

ルナ「ルナも麒麟持つてるよ！」

豪禍は全員が麒麟のカードを持っている事に気付いた

豪禍「お前たち…、ふっ、心配するまでもなかったか…」

トウヤ「行こう、残る相手はマキウラだけだ！」

――

トウヤ達は大会のスタート地点、マキウラの前に辿り着いた。

マキウラ「まさか、彼らを倒して麒麟を揃えて来るとはな…」

トウヤ「マキウラ…」

マキウラ「豪禍、こうして再会できるとはな…」

豪禍「マキウラ…、お前はなぜ今になって麒麟を従える…？」

マキウラ「なぜ？おかしな事を聞く…、麒麟の復活は私の望みだ！私が、この不条理な世界を破壊する為に麒麟を蘇らせる。」

豪禍「不条理な世界？」

マキウラ「そうだ、この世界には破壊が必要だ、余計な要らないモノばかりを増やして、本当に大事なモノは全て奪い去る…、私は、そんな人間達を許すわけにはいかない…！」

トウヤ「だからと言って…、今この場にいる全員を巻き込む必要なんて…、あんたがやっている事も、否定した事と一緒にじゃないか！」

マキウラ「違う！これは麒麟復活の儀式…、彼らは誇るべき尊い犠牲になったのだ！」
幹也「ふざけんな！てめえの願いの為に、関係ない俺達を巻き込むな！って言うてんだ！」

アスカ「そうよ！自分勝手にも程があるわ！」

金井「あなたがやっている事こそ、正に不条理ではないか！」

マキウラ「黙れ、ガキども!!」

6人「…!!?」

マキウラ「そろそろ、儀式に取り掛かろう…、我が麒麟・雷獣の元に、集え！麒麟達よ！」

動き出すマキウラ

マキウラ「そろそろ、儀式に取り掛かろう…、我が麒麟・雷獣の元に、集え！麒麟達よ！」

その時、みんなが持っていた麒麟がマキウラの元に集まる

トウヤ「麒麟達が!?？」

「うわあああ！」

「きやあああ！」

さらに、大会に参加していた全員が青い炎のようなオーラに包まれる…

金井「うわあ！」

トウヤ「金井君!?？」

ルナ「いやあああ！」

トウヤ「ルナちゃん!?!」

豪禍「うぐ…、これは…!」

トウヤ「豪禍さん!?!」

アスカ「きやあ!」

幹也「うおわ!」

トウヤ「幹也君!アスカ!?!」

マキウラ「くふふふ…」

トウヤ「や、やめろー!!」

マキウラ「魂を喰らえ…」

そして皆んな、麒麟に吸収された…

トウヤ「…!マキウラー!」

その時、トウヤの眼が光り、トウヤが纏っていた青いオーラが光に吸収された…そして、トウヤの眼には青い光が炎のように浮かび上がる

マキウラ「…!?なぜだ、なぜお前だけ残る…!」

トウヤ「マキウラ…、自分の為だけに、他の関係無い人達を巻き込んだあなたを…、僕は絶対に許さない…!デュエルだ!!?」

マキウラ「トウヤ、と呼ばれていたな?良いだろ、麒麟の力を退けた君の力を、その目に宿る力を確かめてやろう…!」

ゼーレ・リリース

マキウラ「私のターン!ドロー!エナジーチャージ(表1)、私はへ麒麟の下僕 ラーを召喚!」

麒麟の下僕 ラー

コスト3 ★★ / 「光」 / 獣 類 / ★★

攻5000 / パワー4

??君の場にゼーレが存在していないなら、このカードを無コストで召喚できる。

??このゼーレが召喚された時、君のデッキから2枚エナジーに置く。この効果は1ターンに1回発動する。

?? 君の場の「麒麟」ゼーレは破壊されたターンの終了時に無コストでスタンして召喚できる。

?? 「連撃：1」

マキウラ「このゼーレが召喚されたら、2チャージ（表3）、エナジー3払い、〈麒麟・雷獣〉を召喚！」

麒麟・雷獣

コスト5 ★★／「光」／獣 類／★★★

攻6000／パワー6

?? このゼーレが召喚された時、君のデッキから2枚ドローする。この効果は1ターンに1回発動する。

?? 相手の攻撃で、このゼーレが破壊された時、相手にダメージ2！

?? 「通撃」

トウヤ「もう出るのか？」

マキウラ「雷獣の召喚時、2枚ドロー！バトルだ、雷獣で攻撃！」

トウヤ「ぐうう」LP15↓9
マキウラ「ターンエンド」

トウヤ「僕のターン、ドロロー！エナジーチャージ（表1）、へエナジープラス！デッキから2枚チャージ（表3）、エナジー2払い（表1 裏2）、へ戦獣 インパランサーを召喚！」

戦獣 インパランサー

コスト2★／「無」／獣 類／★

攻4000／パワー3

??君のバトルタイム開始時、相手のゼーレ1体にダメージ2000！

??「チャージ」

トウヤ「さらにエナジー1払い（表0 裏3）、へ戦獣 ソードライガーを召喚！」

戦獣 ソードライガー

コスト2★／「無」／獣 類／★

攻3500／パワー3／「チャージ」

トウヤ「ソードライガーは召喚されたターンのみ、攻撃力+1000／パワー+1！」

戦獣 ソードライガー

攻3500↓4500

パワー3↓4

トウヤ「バトル！インパランサーの効果で雷獣にダメージ2000！」

麒麟雷獣

攻6000↓4000

トウヤ「インパランサーで雷獣に攻撃！」

インパランサー

攻4000

パワー3

vs

雷獣

攻4000↓0

パワー6

麒麟・雷獣 撃破！

マキウラ「麒麟・雷獣の効果発動！このゼーレが破壊された時、相手にダメージ2！」

トウヤ「何!?？うわああ！」LP9↓7

トウヤ「く…、ターンエンド…」

マキウラ「麒麟・雷獣が破壊されたターン終了時に、麒麟の下僕ラーの効果発動！破壊された雷獣を墓地から、スタンさせて無コスト召喚する！」

トウヤ「何!?？」

マキウラ「我は滅びぬ…、さて、破滅を始めよう！」

トウヤ vs マキウラ 滅亡の幻獣神

トウヤ LP7

戦獣 インパランサー

戦獣 ソードライガー

――

マキウラ LP15

麒麟・雷獣

麒麟の下僕ラー

――

マキウラ「さて、破滅の時だ…、私のターン！ドロ、エナジーチャージ（表4）、
続トリガー〈麒麟の襲来〉」

麒麟の襲来

続効トリガー

??君のライフ2払う、君のデッキから〈麒麟〉ゼーレー1枚を手札に加える。

??さらにライフ2払うことで、上記の効果をもう一度だけ発動できる。

マキウラ「麒麟の襲来の効果でライフ2払う（LP15→13）、デツキから〈麒麟・影角〉を手札に加える。」

トウヤ「麒麟を!?!?」

マキウラ「さらにライフ2払う（13→11）事で、今の効果をもう一度発動できる、デツキから〈麒麟・氷狐〉を手札に加える。」

トウヤ「何!?!?」

マキウラ「バトルだ、麒麟の下僕ラーでインパランサーを攻撃!」

麒麟の下僕ラー

攻5000

パワー4

vs

戦獣 インパランサー

攻4000→0

パワー3

戦獣インパランサー 撃破！チャージ（エナジー表1 裏3）
パワー4ー3 11

トウヤ「うっ」LP7↓6

マキウラ「雷獣よ、ソードライガーに攻撃だ！」

麒麟・雷獣

攻5000

パワー6

v s

戦獣ソードライガー

攻3500↓0

パワー3

戦獣ソードライガー 撃破！チャージ（表2 裏3）

パワー6ー3 113

トウヤ「ぐああ！」LP6↓3

マキウラ「ターンエンドだ」

トウヤ「うぐ…、僕のターン！ドロー！エナジーチャージ（表6 裏0）！エナジー5払い（表1 裏5）召喚！〈獣騎士 レオンナイト〉！」

獣騎士 レオンナイト

コスト5★／「無」／獣 類・戦騎士 類／★★

攻5000／パワー5／「連撃：1」

トウヤ「バトル！レオンナイトの効果で、麒麟の下僕ラーに5000ダメージ！」

麒麟の下僕ラー

攻5000↓0

麒麟の下僕ラー 撃破！

マキウラ「くっ」

トウヤ「レオンナイトで雷獣に攻撃！」

レオンナイト

攻5000

パワー5

vs

麒麟・雷獣

攻5000↓0

パワー6

麒麟・雷獣 撃破！

マキウラ「雷獣が破壊された時、ダメージ2だ！」

トウヤ「ぐああ！」LP3↓1

トウヤ「レオンナイトの連撃！レオンナイトでダイレクトアタック！」

マキウラ「ぐおお！」LP11↓6

トウヤ「ターンエンド……！」

マキウラ「ふふふ……やるじゃないか……人間風情が……」

トウヤ「あんたは一体何なんだ？ さつきから…、まるで自分は人間じゃないような言動だ…」

マキウラ「そうだな…確かに、私は麒麟に魂を売った、そして麒麟の魂もまた、私の中に宿っている。私の意思は麒麟の意思なのだ、故に私は麒麟の化身として、人間をに限ったのだ…！」

トウヤ「バカな!!？」

マキウラ「続けよう、私のターン！ ドロー！ エナジーチャージ（表5）！ トリガーへエナジープラス！ デツキから2枚をエナジーに追加（表7）、麒麟の襲来の効果でライフ2払い（LP6↓4）、デツキから〈麒麟・怒猪〉を手札に加え、さらにライフ2払い（LP4↓2）、デツキから〈麒麟・炎狗〉を手札に加える。さらにトリガー〈麒麟の再来〉」

麒麟の再来

ノーマルトリガー

?? 「1ターンに1回」

?? 君の墓地から〈麒麟〉ゼーレ1枚を手札に戻す。

マキウラ「このカードの効果で墓地から〈麒麟・雷獣〉を手札に加える。」

トウヤ「何をやる気だ……！」

マキウラ「行くぞ、今、降臨の準備は整った！私の手札から〈麒麟・雷獣〉、〈麒麟・炎狗〉、〈麒麟・怒猪〉、〈麒麟・風馳〉、〈麒麟・氷狐〉、〈麒麟・錯鼠〉、〈麒麟・影角〉をコストに召喚！その姿は美しく、その光は滅びを導く！見よ！これこそ、滅亡の幻獣、〈幻獣神・麒麟〉！」

幻獣神・麒麟

コスト10 / 「光」 / 獣 類

パワー12000 / パワー10

??このゼーレは君の場合手札にある、名前の異なる〈麒麟〉ゼーレ7種類をこのカードの下に置いて、無コストで召喚する。

??君はこのカード以外のゼーレを召喚出来ない。

??君が相手のターンにこのゼーレの下にあるカードを1枚を墓地に置いて効果を1つ発動する。

1. 相手のゼーレ全てにダメージ3000！

2. 君のライフを+4

3. このゼーレは相手のゼーレ全てを指定して攻撃できる。

マキウラ「見よ！これぞ幻の獣、麒麟だ！」
トウヤ「これが…麒麟…?!？」

トウヤ vs マキウラ 新たな覚醒!

トウヤ LP1

獣騎士 レオンナイト

——

マキウラ LP2

幻獣神・麒麟

——

幻獣神・麒麟

コスト10 / 「光」 / 獣類

パワー12000 / パワー110

??このゼーレは君の場か手札にある、名前の異なる〈麒麟〉ゼーレ7種類をこのカードの下に置いて、無コストで召喚する。

??君はこのカード以外のゼーレを召喚出来ない。

??君が相手のターンに1度、このゼーレの下にあるカードを1枚を墓地に置いて効果を1つ発動する。

1. 相手のゼーレ全てにダメージ3000!
2. 君のライフを+4
3. このゼーレは相手のゼーレ全てを指定して攻撃できる。

マキウラ「幻獣神・麒麟の効果発動！このゼーレの下にあるカード1枚を墓地に送り、私のライフを+4する（LP2↓6）。バトル！麒麟でレオンナイトに攻撃！」

幻獣神・麒麟

攻12000

パワー10

vs

獣騎士レオンナイト

攻5000

パワー5

トウヤ「カウンタートリガー発動！〈戦獣の鎧〉！」

戦獣の鎧

カウんタートリガー

?? 「君か相手のターン」

??場のゼーレー体の攻撃を無効にする、さらにパワーが1番高い自分のゼーレのパワー分、君のライフに加える。

トウヤ「この攻撃を無効にする！さらに、レオンナイトのパワーを僕のライフに加える（L P 1 ↓ 6）！」

マキウラ「ほう…、耐えたか、ターンエンド」

トウヤ「僕のターン！ドロー！エナジーチャージ（表7）！エナジー3払い（表4裏3）」

その時、トウヤの眼に灯る光がさらに青く濃くなる

トウヤ「覚醒召喚！〈超・戦獣ライジング・レオン〉」

超・戦獣ライジング・レオン

コスト5★／攻5500／パワー6／★★

「連撃：1」

トウヤ「バトル！ライジングレオンの効果で、麒麟に4500ダメージを与え、パワーを3減らす！」

幻獣神・麒麟

攻12000↓7500

パワー7

トウヤ「ライジングレオンで麒麟に攻撃！」

ライジングレオン

攻5500

パワー6

vs

幻獣神 麒麟

攻7500↓2000

パワー10

トウヤ「ライジングレオンの連撃！麒麟にもう一度攻撃！」

マキウラ「カウンタートリガー！〈逆麟〉」

逆麟

カウンタートリガー

??「相手の攻撃中」

??君の〈麒麟〉ゼーレ全ての攻撃力+5000！パワー+2

ライジングレオン

攻5500

パワー6

vs

幻獣神 麒麟

攻 2 0 0 0 ↓ 7 0 0 0 ↓ 1 5 0 0
パワ 1 0 ↓ 1 2

マキウラ「麒麟は滅びぬ！」

トウヤ「くそっ！ターンエンド！」

マキウラ「私のターン！」

幻獣神 麒麟

攻 1 5 0 0 ↓ 1 2 0 0 0

パワ 1 1 2 ↓ 1 0

マキウラ「ドロロー！エナジーは7枚の上限に達している、チャージはしない、トリガー発動、〈麒麟の通撃〉」

麒麟の通撃

ノーマルトリガー

??君の〈麒麟〉ゼーレー体は

「通撃」(このゼーレーの攻撃で相手のゼーレーを破壊できなくても、このゼーレーと相手のゼーレーのパワールの差分、相手に戦闘ダメージを与える。)

を得る。

マキウラ「さあ、バトルだ、幻獣神・麒麟でライジングレオンに攻撃!」

幻獣神・麒麟

攻12000

パワー10

vs

ライジングレオン

攻5500↓0

パワー6

トウヤ「カウンタートリガー! 〈戦獣の盾〉!」

戦獣の盾

カウンタートリガー

?? 「相手の攻撃中」

?? 君の（戦獣類）のゼーレー体への攻撃を無効にする。

トウヤ 「ライジンググレオンへの攻撃を無効にする！」

マキウラ 「ムダだ、麒麟の通撃！ バトルでゼーレを破壊出来なくても、戦闘ダメージを与える！」

麒麟

パワー10

vs

ライジンググレオン

パワー6

トウヤ 「うわああ！」 LP 6 ↓ 2

マキウラ 「ターンエンドだ！」

トウヤ「このターンで決めなきや、僕は負ける…これが僕のラストターン!このドローに全てを賭ける!」

その時、麒麟から6つの光が現れ、トウヤのデッキに宿る…

マキウラ「何!麒麟に取り込まれた魂が…?!?どういう事だ?」

トウヤ「皆、力を貸してくれ!ラスト・ドロー!!? 僕のエナジーは7枚、チャージはしない!」

マキウラ「今更どんなカードを引こうと、麒麟は崩せない!」

トウヤ「いいや、僕は勝つ!皆の力で引いた、この1枚で…!エナジー4払い(表3裏4)ライジングレオンをコストに覚醒召喚!へ超戦獣騎士 スラツシュ・レオンナイトへ召喚!」

超戦獣騎士 スラツシュ・レオンナイト

コスト6 ★★ / 「無」 / 獣 類・戦騎士 類 / ★★

攻6000 / パワー6

?? 「覚醒召喚」(君の場のコスト3以上のゼーレ1体)

?? 君のバトルタイム開始時、相手のゼーレ1体にダメージ6000!さらに、パワーを3減らす。

?? このゼーレが相手のコスト4以上のゼーレに攻撃した時、このゼーレのパワー+2する!

?? 「連撃：2」(このゼーレの攻撃後、合計2回までリブートする。)

トウヤ 「これが、進化したレオンナイト!僕達の新たな力だ!」

麒麟 決着!

トウヤ LP2

超戦獣騎士 スラッシュ・レオンナイト

――

マキウラ LP6

幻獣神・麒麟

――

超戦獣騎士 スラッシュ・レオンナイト

コスト6 ★★／「無」／獣 類・戦騎士 類／★★★

攻6000／パワー6

??「覚醒召喚」(君の場のコスト3以上のゼーレ1体)

??君のバトルタイム開始時、相手のゼーレ1体にダメージ6000!さらに、パワーを3減らす。

??このゼーレが相手のコスト4以上のゼーレに攻撃した時、このゼーレのパワー+2

する！

??「連撃：2」（このゼーレの攻撃後、合計2回までリブートする。）

鎧を纏い、右手に剣を左手に獣の爪を模したガンドレットを装備した二足のライオンが現れた！

トウヤ「これが、進化したレオンナイト！僕達の新たな力だ！」

マキウラ「この土壇場で進化したと言うのか!?？」

トウヤ「行くぞ！バトル！スラツシユレオンナイトの効果で麒麟に6000ダメージ！パワーを3下げる！」

幻獣神・麒麟

攻12000↓6000

パワー10↓7

マキウラ「麒麟の攻撃力が…半分…だと…？」

トウヤ「スラツシユレオンナイトで、麒麟に攻撃！スラツシユレオンナイトは相手の

ゼーレとバトルする時、パワー+2!」

マキウラ「させん!麒麟の効果!麒麟の下にあるカードを1枚墓地に送り、スラツシュレオンナイトにダメージ3000!」

トウヤ「何!?」

スラツシュレオンナイト

攻6000↓3000

パワー6↓8

vs

麒麟

攻6000↓3000

パワー7

トウヤ「スラツシュレオンナイトの連撃!リブートしてスラツシュレオンナイトで再攻撃!相手のゼーレとバトルする時パワー+2!」

スラツシュレオンナイト

攻 3000

パワー 6 ↓ 8

vs

麒麟

攻 3000 ↓ 0

パワー 7

幻獣神・麒麟 撃破!!

パワー 8 ↓ 7 || 1

マキウラ 「ぐあっ！」 LP 6 ↓ 5

マキウラ 「バカな…、麒麟が…!!?」

トウヤ 「まだだ！スラツシユレオンナイトはもう1度連撃できる！」

マキウラ 「何!!?」

トウヤ 「行け！スラツシユレオンナイトで3回目の攻撃！レオンソード・スラツシユ
！」

マキウラ 「バカな!!?麒麟である、この私が！ぐああああ!!」 LP 5 ↓ 0

マキウラを倒した時、麒麟のカードから麒麟に吸収された大会の参加者全員の魂が溢れ出し、全員蘇った、だが、麒麟界のメンバーは麒麟の罰から解放されず、そのままの状態で戦いは終わった…

幻獣神・麒麟のカードはトウヤの手に渡った…

そしてトウヤ達、大会の参加者全員で船に乗り込み、幻獣の都を脱出した…

幹也「麒麟界の奴らは、ずっとあのままか…」

アスカ「なんて言うか、哀れだね…」

トウヤ「うん、でもこれで良いんだ…、彼らは麒麟の力を甘く見ていたんだ…、麒麟の力で関係ない者達を巻き込んだ、その身をもって罪を償わなければならない…、だから…」

豪禍「トウヤの言う通りだ、麒麟のカードを手にした時から、これは定められていた結果だ…」

トウヤ「……………」

そしてトウヤ達の過酷な戦いは幕を閉じた…

それから3日後…

カードシヨップ 勇魂豪

トウヤ「豪禍さん、麒麟のカードはどう？」

豪禍「おう、良い見せ物になってるぜ」

〈幻獣神・麒麟〉は勇魂豪に展示されていた

豪禍「こうして飾ってあるだけなら、ただの珍しいカードなんだがな…」

トウヤ「こんな堂々と飾って盗まれたりしないの？」

豪禍「大丈夫だ、多分…」

トウヤ「多分って…」

豪禍「ははは！大丈夫だ大丈夫！」

トウヤ「とにかく、このカードは誰の手にも渡ってはいけない、管理は気をつけてよ」
豪禍「分かってらいい、早く学校に行きな」

トウヤ「ああ！」

辛く厳しい麒麟との戦いは、トウヤの記憶と麒麟のカードに確かに刻まれている…

完 麒麟
界 編

新章

2人の転校生

麒麟界との熾烈な戦いを生き残り、トウヤ達はいつも通りの生活を送っていた。だが学校では新たな噂が囁かれていた。

トウヤ「おはよう、皆！」

幹也「よお、トウヤ！」

東原「おはよさん！」

トウヤ「何か周りがざわついているけど、何かあったの？」

幹也「それがよ、何か転校生が来るってよ」

トウヤ「転校生？」

東原「ああ」

トウヤ「へー、珍しいね」

すると先生が転校生を連れて教室に入ってきて来た。

先生「皆 席につけー、今日は転校生を紹介する。自己紹介をしてくれ」

「はい、皆さん始めまして、私は 姫城 小夜です。よろしくお願いします。」

「神崎 龍翔です。よろしく。」

転校生の2人の名前を聞いた時、クラスの皆がざわついた…、それもそうだ、どちらもブレイブゼーレに関係する大企業の跡取りなのだ。

休み時間

小夜「ねえ、あなたが幻界トウヤ君ね？」

トウヤ「うん？そうだけど…、えーと、姫城小夜さん？」

小夜「名前呼びでいいわよ、妹もお世話になっっているからね」

トウヤ「え？妹？」

小夜「あら、名字で気づいて居たでしょ？」

幹也「お前、もしかして」

アスカ「ルナちゃんのお姉さん？」

小夜「ええそうよ、ルナちゃんからあなた達の事は聞いてるわ」

東原「へく、あの子のねく」

小夜「ふふふ、妹同様仲良くしてね、トウヤ君」 チラツ

アスカ「……………！」 ピクツ

トウヤ「ああ、うん」

龍翔「……………」

更に昼休み…

トウヤはクラスの皆とデュエルをしていた。

龍翔「……………なあ、お前」

東原「ん？神崎、どうした？」

龍翔「あいつ、随分と注目されているな」

東原「ん？ああ、トウヤか、そりゃあ あいつはブレイブゼーレがかなり強いからな」

龍翔「そうなのか？」

東原「おうよ、多分この学校じゃ、あいつの右に出るやつはいないと思うぜ？」

龍翔「そうか…」

東原「興味があつたら、デュエルしてみろよ」

(龍翔、あのトウヤと言う少年から不思議な力を感じる…)

龍翔(不思議な力…?どう言う事だ、ディアボロス)

ディアボロス(とにかく1度手合わせしてみたらどうだ?)

龍翔(…)

龍翔「そうだな、デュエルしてみるか…」

東原「その意気だぜ」

——

モブ「また負けた!」

トウヤ「また勝った!」

龍翔「幻界トウヤ」

トウヤ「あれ、神崎君?」

龍翔「俺とデュエルしてくれ」

トウヤ「デュエル?」

龍翔「ああ、お前の強さを見たい」

トウヤ「…分かった、いいよ」

互いにデッキケースを腕にあてがい、デッキケースに収納されていたバンドが腕に巻きつく

トウヤ「行くよ、神崎君！」

龍翔「龍翔でいい……」

トウヤ「うん、龍翔君！ドロー！エナジーチャージ（表1）、〈戦獣 火リス〉とエナジー1で（表0 裏1）〈戦獣ブレイドライガー〉を召喚」

戦獣 火リス／コスト0／「炎」／獣 類／★／攻2000／パワー2／チャージ

／戦獣 ブレイドライガー／コスト2★／「無」／獣 類／★／攻3500／パワー3
／チャージ

トウヤ「火リスの効果で1ドロー！ブレイドライガーは召喚されたターンだけ攻撃力+1000！パワー+1！」

ブレードライガー

攻3500↓4500

パワー3↓4

トウヤ「ブレードライガーで龍翔君に攻撃！」

龍翔「うっ…」LP15↓11

トウヤ「ターンエンド」

龍翔「俺のターン、ドロウ、エナジーチャージ（表1）、エナジー1で（表0 裏1）、

〈光龍 スパーク〉を召喚」

光龍 スパーク

コスト1★／「光」／龍 類／★

攻2500／パワー3

??このゼーレが破壊された時、君のライフ＋1して、1枚ドロウする。

「チャージ」

龍翔「更にトリガー〈龍の知恵〉」

龍の知恵

ノーマルトリガー

??君は2枚ドローする。更に、君の龍類のゼーレー体を破壊してデッキの上のカード1枚をオープンする、それが 龍類 のカードなら手札に加える。このカードは1ターンに1枚だけ使える。

龍翔「デッキから2枚ドロー。更に光龍スパークを破壊。」

光龍スパーク 破壊！チャージ（エナジー表1 裏1）

龍翔「デッキトップをオープン、そのカードは〈霸道龍 デイアボロス〉よって手札に加える。そして光龍スパークの効果でライフ＋1（LP 11→12）、1ドロー！」

111

幹也「あいつ着実に手札を増やしてやがる」

金井「いったい、何をするんだ…」

小夜（神崎グループの後釜君のお手並み拝見ね）

——

龍翔「へドラゴンチャージ」を発動！」

ドラゴンチャージ

ノーマルトリガー

??君のデッキから2枚エナジーに置く。更にデッキから1枚エナジーに置いてよい、そうしたら君はこのターンだけ龍類のゼーレ1枚でしか攻撃できない。

龍翔「この効果で2チャージ（表3 裏1）、更に1チャージ（表4 裏1）、ターンエンドだ」

トウヤ（手札とエナジーを増やしただけ？）

トウヤ「僕のターン、ドロ、エナジーチャージ（表2）、エナジー1で（表1 裏1）

〈戦獣 クローベア〉を召喚！」

戦獣 クローベア／コスト3★★／「無」／獣 類／★／攻4000／パワー4／

チャージ

トウヤ「クローベアーの召喚時、エナジー1枚を表向きに（表2 裏0）、バトル！クローベアーで攻撃！パワー4」

龍翔「カウンタートリガーへ（バリアー）」

バリアー

カウンタートリガー

??相手のゼーレー体の攻撃を無効にする。

龍翔「その攻撃は無効だ」

トウヤ「なら、ブレードライガーで攻撃！パワー3！」

龍翔「うぐっ」LP12↓9

トウヤ「火リスで攻撃！パワー2」

龍翔「うっ」LP9↓7

トウヤ「ターンエンド！」

龍翔「俺のターン（表5裏0）、ドロー！ エナジーチャージ（表6）、準備は整った、行くぞ！」

トウヤ「な、何か来る！」

トウヤ vs 龍翔

トウヤ LP15 / エナジー 表2

戦獣 火リス / 攻2000 / パワー2 / ★

戦獣 ブレードライガー / 攻3500 / パワー3 / ★

戦獣 クローベアー / 攻4000 / パワー4 / ★

——

龍翔 LP7 / エナジー6

——

龍翔「準備は整った、俺がさっきのターンに手札に加えたカードを覚えているか？」

トウヤ「何か来る!?!」

龍翔「エナジー5で(表1 裏5) 召喚! 己が燃える意思に応えよ! へ覇道龍 デイ

アボロス!」

覇道龍 デイアボロス

コスト5 ★★ / 「無」 / 龍類 / ★★

攻90000／パワー5

??このゼーレは効果で破壊されず、このゼーレが効果で受けるダメージの上限は4000になる。

??このゼーレのバトル後、君のゼーレ1体を破壊する事で、相手のゼーレ1体に4000のダメージを与えてこのゼーレをリブートする。

龍翔「更にへ土竜 アースを召喚」

土竜 アース

コスト1★／「土」／龍類／★

攻20000／パワー2

??このゼーレが破壊された時、1ターンに1回、スタンして場に残す。

龍翔「バトル、土竜アースで戦獣 火リスに攻撃！」

土竜アース

攻20000

パワー2

vs

戦獣 火リス

攻2000↓0

パワー2

戦獣 火リス 撃破！チャージ（表2↓3）

龍翔「霸道龍ディアボロスでクローベアーに攻撃！」

霸道龍ディアボロス

攻9000

パワー5

vs

戦獣 クローベアー

攻4000↓0

パワー4

戦獣 クローベアー 撃破！チャージ（表3↓4）

パワー5ー4＝1

トウヤ「くう」LP15↓14

龍翔「ディアボロスの効果！土竜アースを破壊！ブレードライガーに4000ダメージだ！」

土竜アース 破壊！

戦獣 ブレードライガー

攻3500↓0 破壊！チャージ（表4↓5）

トウヤ「何!?？」

龍翔「ディアボロスのリブート、更に土竜アースをスタンして場に残す。ディアボロスでトウヤに攻撃！」

トウヤ「うああ！」LP14↓9

龍翔「さらにトリガーへドラゴン・ツインクロー！」

ドラゴン・ツインクロー！

?? 「君のバトルタイム中」

?? 君の龍類のゼーレ2枚を選び、その内1体を破壊して、もう1体をリブートする。

龍翔 「俺は、光龍スパークを破壊して、ディアボロスをリブートする。」

光龍スパーク 破壊！

龍翔 「ディアボロスでトウヤに攻撃！」

トウヤ 「ぐあああ！」 LP9 ↓ 4

龍翔 「ターンエンド」

トウヤ 「一気に僕のゼーレが全滅…強い…、僕のターン！ドロ、エナジーチャージ
(表6)、〈戦獣 キリサキタイガー〉を召喚！」

戦獣 キリサキタイガー

コスト3 ★ / 「無」 / 獣 類 / ★★

攻3500／パワー4

??相手の場にコスト4以上のゼーレがいれば、このゼーレは無コストで召喚できる。

〔連撃：1〕

その時、トウヤの目から青いオーラが灯る

龍翔「……!?？」

トウヤ「エナジー3払い（表3 裏3）覚醒召喚！」

龍翔「覚醒召喚だと!?？」

トウヤ「出でよ！〈超・戦獣 ライジング・レオン〉」

超・戦獣ライジング・レオン／コスト5★★★／攻5500／パワー6／★★★／連撃：1

トウヤ「更にエナジー2払い（表1 裏5）、〈戦獣 ソードレオン〉召喚！」

戦獣 ソードレオン

コスト4★★★／〔無〕／獣類

攻4000／パワー4／★

??このゼーレが召喚された時、お互いに1枚ドロウする。

??このゼーレが攻撃した時、このゼーレの攻撃力+2000／パワー+2

トウヤ「ソードレオンが召喚された時、互いに1枚ドロウ！」

龍翔「ふん」

トウヤ「バトル！ライジングレオンの効果でディアボロスに4500のダメージ！パワー3ダウン」

龍翔「ディアボロスは4000までしかダメージを受けない！」

ディアボロス

攻9000↓5000

パワー5↓2

トウヤ「ソードレオンでディアボロスに攻撃！ソードレオンは攻撃した時、攻撃力+2000／パワー+2される！」

龍翔「カウンタートリガー〈覇龍狂牙〉」

覇龍狂牙

カウンタートリガー

?? 「相手の攻撃中」 「1ターンに1回だけ使える」

?? 攻撃されている君のゼーレー1体の攻撃力をそのゼーレーの元々の攻撃力分アップする。

龍翔 「ディアボロスの攻撃力を元々の数値分回復する！」

戦獣ソードレオン

攻 4 0 0 0 ↓ 6 0 0 0

パワー 4 ↓ 6

vs

ディアボロス

攻 5 0 0 0 ↓ 1 4 0 0 0 ↓ 8 0 0 0

パワー 2

トウヤ「ライジングレオンでディアボロスに攻撃！」

ライジングレオン

攻5500

パワー6

vs

ディアボロス

攻8000↓2500

パワー2

トウヤ「連撃！ライジングレオンで再攻撃！」

ライジングレオン

攻5500

パワー6

vs

ディアボロス

2500↓0

パワー5

霸道龍ディアボロス 撃破！

パワー6 | 5 || 1

龍翔「うう…」LP7↓6

トウヤ「さらにとりガー発動！〈獣牙双撃〉

獣牙双撃

??「君のバトルタイム中」

??君の獣類のゼーレー体をリブートする。

トウヤ「このカード効果で、ライジングレオンをリブート！3回目の攻撃！パワー6
！」

龍翔「なるほど…いい強さだ…、ぐああ！」LP6↓0

トウヤ「いいデュエルだったよ、龍翔君」

龍翔「ああ」

龍翔（トウヤの目のオーラ…、やはりただのデユエラーではないな…）